

官報

號外

明治四十一年二月五日

水曜日

印刷局

第二十四回 帝國議會 衆議院議事速記第六號

明治四十一年二月四日(火曜日)午後一時七分開議

議事日程 第五號 明治四十一年二月四日

午後一時開議

第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 國有林野法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 酒造稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 石油消費稅法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 日本大博覽會出品外國貨物免稅ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 府縣制中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 沖繩縣ノ負擔及國庫補助ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 學校及圖書館資金所屬土地賣却代金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五 韓國ニ於ケル鐵道用品資金會計ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十六 衆議院議員選舉法中改正法律案(中西六三郎外三名提出)

第一讀會

○議長(杉田定一君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案

(第一號)明治四十一年度歲入歲出總豫算追加案

官報號外

明治四十一年二月五日(明治四十一年三月三十一日第三種郵便物認可)

衆議院議事速記第六號 議長ノ報告

七一

明治三十八年度各特別會計歲入歲出決算

明治三十八年度歲入歲出決算檢査報告

貴族院ヨリ送付セラレタル政府提出案左ノ如シ

國有林野法中改正法律案

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

未成年者飲酒禁止法案

提出者 根本 正君

一根本正君ヨリ教育ニ關スル質問趣意書ヲ提出セラレタリ

一神藤才一君ヨリ外務大臣ノ答辯ニ對スル再質問書ヲ提出セラレタリ

一大竹貫一君外一名ヨリ不當干涉ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

一福井三郎君ヨリ鑛業採掘權新件ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

教育ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十一年一月二十九日

提出者 根本 正

贊成者 江原 素六

外二十九名

教育ニ關スル質問趣意書

一商科大學設立ニ關スル昨年ノ建議ニ對シ政府ハ如何ナル方針ヲ執ラレタリヤ

一教育基金壹千萬圓ノ利子五拾萬圓ヲ普通教育費トシテ支出スヘキヲ其半額

貳拾五萬圓ニ削減シタリ政府ハ何レノ時ニ於テ之ヲ既定額五拾萬圓ニ復舊スルカ

一國民教育ノ本旨ニ悖リ尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノ其數壹千參

百六拾七校ノ多キニ至リタルハ政府監督ノ怠慢ニ出タルモノニアラスヤ

外務大臣ノ答辯ニ對スル再質問書

右成規ニ依リ提出候也

明治四十一年二月三日

提出者 神藤 才一

贊成者 尾崎 行雄

外三十一名

外務大臣ノ答辯ニ對スル再質問主意書

一日本員ノ提出シタル間島問題質問ニ對シテハ目下交渉中ニ云々外務大臣ノ答辯

アリタルモ該答辯ハ實ニ要領ヲ得サルヲ以テ尙更ニ最初ヨリ現今マテノ交渉ノ經過ヲ

聽キ以テ日清兩國國民ノ意氣ニ供セントス依テ再ヒ同問題ニ就キ質問ニ及ビ候也

不當干涉ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十一年二月四日

提出者 大竹 貫一

贊成者 米田 實

外三十一名

小川 平吉

不當干涉ニ關スル質問主意書

一臨時商業會議所聯合會カ増稅反對ノ決議ヲナシタルニ對シ農商務大臣ハ何故ニ不當ノ干涉ヲ試ミタリヤ

一前記聯合會參列ノ爲メ上京セル會員ニ對シ或ハ官吏ヲ派遣シ或ハ刑事巡查ヲ尾行セシメ其意思ヲ束縛セントスル理由如何

一増稅反對ヲ標榜セル實業組合カ二月五日全國實業組合大會ヲ開カントスルニ際シ政府ハ警察官ヲシテ各組合員ニ就キ出席ノ有無ヲ糾シ以テ暗ニ威迫干渉ヲ試ミントシタル理由如何

鑛業採掘權特許ニ關スル質問
右成規ニ據リ提出候也

明治四十一年二月四日

提出者 福井 三郎

贊成者 荒谷 桂吉
外二十九名

鑛業採掘權特許ニ關スル質問主意書

愛媛縣喜多、西宇和ノ兩郡堺矢野神山ノ山嶺ニ於ケル眞言宗出石寺附近ノ地ハ銅鑛アリテ明治二十二年八月久保田佳長外二名及ヒ借伴傳助等發見ノ上採掘特許ヲ申請セシニ政府ハ之レヲ許スヲ以テ公益有害トシテ採用セス爾來明治三十七年十月マテ交モ採掘若クハ試掘ノ出願ヲ爲スモノ十四名ニ及フモ政府ハ前例ニ依リ何レモ之ヲ却下シ來リタルニ拘ハラス明治三十八年十二月石原久之助カ採掘ヲ出願セルモノニ限リ政府ハ詮議ノ上之レヲ特許シタリ

一明治三十七年十月迄ノ出願ハ總テ公益有害トシテ之レヲ却下シナカラ同三十八年十二月ノ出願ノミ之レヲ特許シタル理由如何

一鑛業上公益有害トナルヘキ理由及狀態ハ僅ニ一年餘ノ間ニ變化スヘキモノニアラス然レニ前願ヲ却ケ後願ヲ許シ矛盾ノ處分ヲ爲シタルニ就キテハ其前願ヲ以テ公益有害トナシタル理由由及後願ニ限リ公益上無害トナシタル理由如何

一公益上有害地トシテ鑛業ヲ許可セザリシ地域ニ於テ其禁ヲ解キ改メテ後願者ニ特許ヲ與フルニ當リ假令前願處分後行政訴訟提起ノ期間ヲ經過セシモノト雖モ尙前願者ノ異議ナキヲ認メタル上特許ヲ與フルノ先例アリ然ルニ本件ニ限リ行政上ノ先例ニ反シ多數ノ前願者ヲ無視シタル理由如何

一同地ノ試掘若クハ採掘ノ出願ニ付地方長官ハ從來公益上有害ナリトシ十六年間一貫シテ其意見ヲ改メザリシニ石原久之助ノ出願ニ限リ地方長官ハ公益上有害ニアラストナセリト云フ政府ハ然レ之ヲ採用シタルモノトセハ其前後矛盾ノ意見ヲ是認セシ理由如何

一政府カ石原久之助ニ採掘特許ヲ與ヘントスル際シ出石寺信徒總代清水谷巖神谷軍治其他幾千ノ信徒ハ鑛業ノ許可ヲ以テ同寺ノ信仰上極メテ有害ナリトシ紛擾ヲ來シ依然公益有害地ヲ維持ヲ求メタリト云フ政府ハ之ヲ認ムルヤ

一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ
西園寺總理大臣ノ演說ニ對スル質問主意書 (西園寺內閣總理大臣)
間島問題ニ關スル質問主意書 (林外務大臣)
教育ニ關スル質問主意書 (牧野文部大臣)

衆議院議員久保田與四郎君提出西園寺總理大臣ノ演說ニ對スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十一年一月三十一日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿
私ノ宴席ニ於ケル談話ノ内容ニ關シテハ答辯ノ限リニアラス

右及答辯候也

明治四十一年一月三十一日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議員神藤才一君提出間島問題ニ關スル質問ニ對シ別紙外務大臣答辯書及御回付候也

明治四十一年一月三十一日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員神藤才一君提出ニ係ル間島問題ニ關スル質問書ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治四十一年一月二十九日

外務大臣伯爵林董

衆議院議員神藤才一君提出ノ間島問題ニ關スル質問書ニ對スル答辯書問島問題ハ目下尙ホ日清兩國間ニ交渉中ナルヲ以テ未タ答辯ノ時機ニ達セス

右及答辯候也

明治四十一年一月二十九日

外務大臣伯爵林董

衆議院議員根本正君提出教育ニ關スル質問ニ對シ別紙文部大臣答辯書及御回付候也

明治四十一年二月三日

內閣總理大臣侯爵西園寺公望

衆議院議長杉田定一殿

衆議院議員根本正君提出ノ教育ニ關スル質問ニ對スル答辯書

一商業ニ關スル最高教育機關設置ノ件ハ事學制ノ全體及經濟ニ關シ重大ノ問題ナルヲ以テ尙ホ調査中ニ屬ス

一教育基金ハ財政事情ノ許ス限り可成早ク之ヲ填補セントス尙質問ニ所謂二十五萬圓ハ普通教育獎勵費ニシテ教育基金令ニ依ル支出ニアラス

一尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノアルハ市町村經濟ノ都合上已ムヲ得ス小學校令第五十七條第二項ニ依リ監督官廳ニ於テ認可セシモノニシテ監督ノ怠慢ニ由レルニ非ス尤モ授業料ヲ徵收スル學校數ハ別表ノ通漸次減少シツ、アリ將來ニ於テモ尙之ヲ減少セシメント期ス

右及答辯候也

明治四十一年二月一日

文部大臣男爵牧野伸顯

授業料ヲ徵收スル尋常小學校數

三十三年度	一七、五〇〇
三十四年度	一、九六八
三十五年度	一、八七二
三十六年度	一、七三六
三十七年度	一、四七〇
三十八年度	一、三六七
三十九年度	一、三三六

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)
去ル二十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

事業公債條例中改正法律案

前島 元助君 小山田 信藏君
永見 寬二君 井上 精一郎君
三輪 猶作君 七里 清介君
臺灣事業公債法中改正法律案
千葉 禎太郎君 青柳 信五郎君
伊藤 傳右衛門君 星野 仙藏君
佐治 幸平君 鈴置 倉次郎君
學校及圖書館資金所屬土地賣却代金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案
根本 正君 楠 目 玄君
由布 惟義君 榎 本 次郎右衛門君
安達 謙藏君 山田 省三郎君
韓國ニ於ケル鐵道用品資金會計ニ關スル法律案
江原 茂節君 鈴木 藤三郎君
川原 仁太郎君 森 矢島 浦太郎君
石田 仁太郎君 矢島 浦太郎君
衆議院議員選舉法中改正法律案外二件
長谷川 豐吉君 三浦 盛徳君
林 小 參君 牧 野 逸馬君
植 木 元太郎君 江 藤 哲藏君
神崎 東藏君 降 旗 元太郎君
大畑 純次君 藤 井 牧 太君
濱田 國松君 高 橋 勝七君

美禰 龍彦君
木村 格之輔君
菊池 武徳君
本出 保太郎君
澤 來 太郎君
濱 口 權君
鳥海 哲四郎君
首藤 陸三君
神藤 才一君
丹後 直平君
佐藤 伊助君
山口 熊野君
廣 瀨 久政君
西山 志澄君
森田 卓爾君
平島 松尾君
渡邊 敬昌君
小林 仲次君

一委員長理事左ノ通り當選セラレタリ
鹽專賣法中改正法律案委員會
委員長 景山 甚右衛門君 理事 鈴木 久次郎君
臺灣事業公債法中改正法律案委員會 理事 濱 口 權君
委員長 千葉 禎太郎君
學校及圖書館資金所屬土地賣却代金ヲ一般會計ニ繰入ルル件ニ關スル法律案委員會
委員長 根本 正君 理事 楠 目 玄君
衆議院議員選舉法中改正法律案(島津良知君外七名提議)外二件委員會
委員長 西山 志澄君 理事 濱田 國松君
韓國ニ於ケル鐵道用品資金會計ニ關スル法律案委員會
委員長 丹後 直平君 理事 佐藤 伊助君
軍艦水雷艇補充基金組入ニ關スル法律案委員會
委員長 奧村 善右衛門君 理事 加瀬 禮逸君
事業公債條例中改正法律案委員會
委員長 前島 元助君 理事 小山田 信藏君

○議長(杉田定一君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ申スコトガアリマス、野上嘉平君病氣ノタメ一月三十一日ヨリ十日間請假ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、尾形兵太郎君病氣ノタメ二月一日ヨリ向フ三週間請假ノ申出ガ出テ居リマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、山根正次君病氣ノタメ二月二日ヨリ二週間請假ノ申出ガ出テ居リマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、田中藤次郎君病氣ノタメ本日ヨリ三週間請假ノ申出ガ出テ居リマス、許可シテ差支アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、諸願委員野上嘉平君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、同君ハ第六部ノ選出ニ付、同部ノ諸君ハ補缺ノ互選アラントラ希望致シマス、鹽專賣法中改正法律案委員尾形兵太郎君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、同委員ハ議長指名ニ付、其補缺トシテ西田作次郎君、山田平太郎君ヲ指名致シマス——神藤才一君
(神藤才一君登壇)

○神藤才一君 諸君、私ハ今日此増稅問題ト云フ大問題ガ現ハレテ居リマス、サナカニ以テ、私が質問致シマスルコロノ間島問題ノ如キハ、或ハ諸君ニ於テ斯ル大問題ガアル矢先キ、斯クナル問題ヲ以テ質問演説ヲナスガ如キハ、エタイ分ラヌヤツト云フ御叱リガアルカモ知レヌカ(ノウノ)ト呼フ者アリ併ナガラ諸君、内治ノ關ハ是ハ兄弟同土ノ事アル、意見ノ衝突アルマシマス、併ナガラ外交ノ問題ハ一ツ誤レバ再ヒ取返スコトハ甚ダ困難アルノデアリマス、カルガ故ニ諸君ノ暫ク御清聴ヲ仰グノデアリマス、諸君、先日私等ノ同僚ナル望月小太郎君ハ此間島問題ニ付キマシテハ神藤トハ百長ノ打合ラスルノデアルト言ハレタヤウデアリマシタガ、本員ハ此八百長ノナント云フ器用ナコトハ出來ル人間デナイノデ(ヒヤノ)ト呼フ者アリ所謂馬車馬ノデアル、頭ガ碎ケルカ柱ガ壞レカノ一點張りノ人間デゴザイマス、併シスノ如キ事ハ指摘イテ、凡ソ國際ノコトハ外交ニ始マツテ外交ニ終レデアリマス、是ハ自然ノ通義デゴザイマス、又外交ノ事ハ秘密ヲ要スルノデアリマス、勿論ノコトデアル、軍事モ亦然ルノデアル、デ是等ノコトハ皆諸君ノ御承知デアルガ、其秘密ナルコトヲ知ツテ、本員ガ之ヲ當局大臣ニ質問致シマスルコトハ、萬已ムラ得ザルトコロニ出デタルモノデアリマス、固ヨリ外交ノコトハ「カメレオン」トノコトナレドモ、近今我外交ヲ御覽シマセ、兎角無定見デ、無方針デ、無責任デ、遲鈍、緩慢卑屈デアルヤウニ見受ケルノデアル、(笑聲起ル)所謂諸君ガ喉ヲ仰セラレトコロノ根柢ナク讓歩的ノ外交デアルヤウデアリマス、然ルニ先日政府黨ノ吾々が崇拜スルコロノ大知識者ト云ハレルベキ竹越君ハ何ト云ハレタデアリマセウカ、此政府ハ極メテ外交ニ於テ成功シテ居ルノデアル、日英同盟ト云ヒ、日露、日佛、日韓、日

清ノ如キ諸條約ハ是レ皆大々的成功シタル、日本ハ東洋ノ孤立國カラ列國ノ舞臺ニ出テ列國ノ「コンサート」ニ入リテ立派ニ音樂ヲ鳴ラシテ居ル、鳴ラシテ居ルノミナラス其音樂ノ調子ヲ取テアルト、斯ウ誇ラレテ言ハレタヤウニ思ハレノデアル、或ハ斯クナラン、本員モ斯ク思フデ居ルノデアル、即チ日本ノ外交ハ音樂的デアル、竹越君ノ云ハレタ如ク、音樂的、田舎芝居、御祭の外交デアル、即チ外面虚飾ノ外交デアル、初ハ立派テ勢好イノガ、終リハ音樂的ニ離ラレテ終ハルノデアル、即チ諸君ノ知ラル、如ク日米ノ問題ト云ヒ、此間島問題ト云ヒ、ドウヤ音樂的ニ離ラレテ終ラレンカノ疑ガアルノデアル、若シ果シテ然ラバ我國民及韓國人民ノ感想ハ如何、眞ニ汗背ノ至リデアルマセヌカ、此大日本帝國ハ東洋平和ノ主腦者デアル、其主腦者タル日本ガ日清韓三國ニ大關係アル此間島問題ヲ、御祭音曲のニ終ラレントノ外交ニ對シテハ、吾々人民ハ再三再四此間ヲ放シテ當局大臣ニ其要領ヲ得ルマデハドウシテモ問ハナケレバナラヌデアル、如何トナレバ先日來ノ諸新聞ノ如クンバ、今日此問題ガ御祭音樂的外交ニ終リ終ハラレンカモ知ラヌガ、今後再ヒ此問題ノ如キ御祭音曲のニ終リマスルコトハ信ジテ疑ハナイノデアル、若シ此ノ如ク毎年歲々此騒ギノアルニ於テハ、或ハ御祭ノ相談ヲ開クヤニ至ルヤモ計リ難カラシムデアル、併ナガラソレ等ノコトハサテ措テ、諸君、間島ハ諸君ノ御承知ノ如ク海川中ノ島嶼デアリマセヌ、一ノ大廣原デアリマス、其面積ハ少クモ韓國威鏡道ニ讓ラヌ、而シテ其位置ハ清韓兩國ニ出シタル白頭山ノ麓デアル、(ソナコトハ知ツテ居ルヨ)「御承知ナラバ(皆知ツテ居ルヨ)或ハ「謹聽」ト呼フ者アリ」詳シク云ヘバ清韓兩國ノ境ニ蟠居セル長白山、山麓ノ大廣原デアル長白山ハ秀ハ即チ秀ナリト雖モ、元ト是レ一ノ大廣原ヲナス滿洲ノ野ニ比シマスレバ、其一小山起タルニ外ナラズト雖モ(分ツテカト)呼フ者アリ)海拔僅ニ八千呎ト稱スレドモ、之ヲ其山麓ヨリ測リマスレバ、僅ニ二千五百呎ヲ超エザルノデアル、既ニ峻嶒ナル橫斷、山脈ノ國境ニ蟠居セルモノナリ、一華帶水ヲ隔テ、滿韓境ヲ接スルガ故ニ、間島ノ過去ハ古來屈辱ノ歴史ニ富ミ、隣交稼穡ノコト、又語ルニ忍ビザルモノガアル(「謹聽」ト呼フ者アリ)朝鮮ナル文字ガ元來遼河以南ノ地ニ與ヘラレタル名稱ナリト考證ハサテ措キ(「簡單」ト呼フ者アリ)檀君箕子衛滿ノ昔ヨリ近ク李朝ノ今日ニ至ルマデ、間島ノ領土ハ幾多ノ歴史の及地理的實證ニ依ツテ、韓國ノ領土ナルコトハ明デアル、併ナガラ本員ハ之ヲ歴史の二論ジ、之ヲ地理の二述ベトキハ、少クモ二日モ三日モ掛ルノデアル(「ヨシ給ヘ分テ居ル」ト呼フ者アリ)妨ゲルモノアツテモ吾輩ハ發言權ヲ得タ以上ハ、十日デモ二十日デモ論ズルノデアル、若シ妨ゲルモノアツタナラバ、神藤君シテ此演壇カラ引摺リ落シテ見イ(「謹聽々々」ト呼フ者アリ笑聲起ル)(「簡單々々」ト呼フ者アリ)併ナガラ此事ハ他日書ニ著シテ分ルヤウニ知ラセタルノデアル、今日ハ唯我ノ保護ノ下ニアル韓國領土タル間島ガ、如何ニ滿洲ニ境シアルカラ述ベ、且之ニ附隨スル軍事及經濟上ノ要點ヲ概説シテ音樂的御祭外交當局者ニ問ハントスルノデアリマス、併ナガラ軍事上ノコトハ最モ秘密ナルヲ要スル故ニ、私ハ茲ニ略スガ、抑間島ハ眞ニ韓國領土デアリマス、滿韓兩國ノ分界線ハ清國政府側ノ云フトコロノ豆滿江ニアラズシテ、其國境線ハ白頭山、所謂分水嶺即チ康熙五十一年五月十一日ニ立テラレタルトコロノ定界碑ヨリ左弓形線ヲ以テ畔嶺ニ到リ、同所ヨリ發原スル分界江一名、布爾哈圖河ニ沿ツテ順勢上流ヲ經テ、穩城ニ到リ、是ヨリ豆滿江ニ沿テ海ニ到ルヲ以テ、滿韓兩國ノ國境トナスコト、是ハ天然の國境ニ照ラスモ又歴史の國境ニ證スルモ明ニ確カデアルケレドモ、清國政府ハ彼ノ土門ヲ以テ韓國ノ豆滿江ト稱スルモ、此豆滿江ハ滿洲

人ノ所謂吉林土門ニシテ、即チ松花江ノ上流タルガ故ニ、其混同モ亦甚シイデゴザイマス(成程「ト呼フ者アリ」尤モ清國ニ於テハ土門ト豆滿江トハ國音相似タルガ故ニ、土門即チ豆滿江ト主張スレドモ、吉林土門ハ「ツォーメン」ト發音シ、韓國ノ所謂豆滿ハ「トングス」語ノ「トーマン」即チ泉水合流ノ義ニシテ、即チ古來穩城以下ノ流域、即チ順勢布爾哈圖海關ノ北ニツノ河ガ流注シテヨリ下流ヲ呼稱スルノデアル、穩城ヨリ上流ハ別ニ於伊後江ノ名稱ガアリマス、此伊後江ハ朝鮮人ノ義譯デハ魚潤ト呼ビ、漢人ハ元明時代ニ於テ之ヲ音譯シテ愛呼ト呼シタノデアル、故ニ松花江上流ノ土門ト混同スベキモノデハナイノデアル、殊ニ諸君、清國政府ハ康熙五十一年頃ニ於テサニ、韓國ノ微弱ナルニ乘ジテ之ヲ壓迫シ、十分韓國ノ領土ヲ橫領シ、之ニ定界碑ヲ建テ、而シテ此定界碑ヲ基礎トシテ之ニ添ユルニ延長ナル土堤ヲ築キ、之ニ植ユルニ樹木ヲ以テシタルデアル、諸君、今日此樹木ヲ御覽ナサシ、其堤防ノ上ニハ一ト抱以上ノ木ガ往々アル、此ノ如キ人造國境ヲ造テ以テ滿韓ノ國境ヲ劃定セシモ拘ハラズ、今日尙此上ニモ韓國領土ヲ爭ハントス、尤モ曩ニ諸君ノ御承知ノ通り、清國政府ハ我琉球ヲサヘ自國ナリト主張シテ以テ我ニ爭ハントセシ外交ノ手際ヲ以テシマスレバ、彼ノ外交ノ手腕如何ヲ知ルノデアリマス、固ヨリ本員ハ理ニモ非ニモ此ノ間島ヲ韓國ノ領土權、韓國ニ收容セヨト云フノデアリマス、ケレドモ斯ノ如キ歴々タル歴史及地理ノ證明スルコトヲ如何ニ致シマセウ、殊ニ又露國ハ久シキ以前ヨリ此間島問題ニ注目シ、我明治二十五年駐露露國公使、「ウエバー」氏ハ時ノ外相李道宰ト露韓境地條約ナルモノヲ締結シ、此間島ハ韓國ノ領土タルコトヲ確認シ、而シテ此露韓兩國協治施政ヲ此地ニ設ケ、以テ自治團體ヲ作ツタノデアル、其上ニ若シ第三ノ國ニシテ此間島ニ干渉センカ、露國ハ責任ヲ以テ獨リ之ニ當ルベシトノ協約ヲ爲シタノデアル、斯ノ如キ外交上ノ一事ヲ以テ見ルモ間島ハ韓國ノ領土タルコト決シテ疑フベカラザルコトデアル、斯ノ如キ明ナル實證實證アルニモ拘ハラズ、我當局ハ在昔月日ヲ其交渉ニ費シ、殊ニ本員ノ質問ニ對シテ、何ト云フデアルカ、目下尙交渉中ナルヲ以テ、未ダ答辯ノ時期ニ達セズト、如何デゴザイマセウ、實ニ不得要領ナル、此所ガ即チ無責任極マル、答辯デアル固ヨリ外交ノコトハ秘密ナルハ勿論ナレドモ、交渉はマデノ經過位ハ政府自ラ進ンデモ之ヲ説明スルハ國民後援ノ原法デアル、若シ萬一公會ニ於テ之ヲ説明スルヲ憚ルナラバ我輩等ハ不本意ナガラ秘密會ナリトモ開イテ之ヲ説明スルコト國民ニ對スル當局者ノ義務デアルト思フ、然ルニ其交渉ノ時期云々ヲ以テ屈讓の外交ヲ掩ハントスレドモ、其答辯ノ時機ニ達スル頃ハ此間島問題モ我ニ取リテハ即チ「ゼロ」的外交ニ終ルナラン、剩レ世間ノ云フガ如ク間島ノ全土ヲ舉ゲテ彼ニ讓與シ、他ニ相當ノ利權ヲ得ルコトナクンバ、何ヲ以テ我國保護ノ下ニアル韓國ニ見エントスルカ、我國民ノ多數ニ於テコソ毫モ意ニ介セザル如クナレドモ、歐洲各國ニ於テハ日米關係ト云ヒ、日清ノ關係ト云ヒ、皆是レ重要視シ、之ニ對シテ多大ノ注意ヲ拂ヒツ、アリ故ニ一時在外公債ノ低落セシモ、全ク其成行ヲ悲觀セル結果ニ外ナラザルノデアル、然ルニ日米ノ關係ハ世人ノ知ル如ク我當局者ノ屈讓ニ據リテ、無事ニ其局ヲ結バントシタレドモ、日清ノ關係ハ如何セン曩ニ外交專門家ナル望月君ノ云ヘル如ク、彼ノ食鹽問題アリ、鴨綠江森林問題、鑛山事件、漁業公司事件、鐵道問題及此間島問題ガアル、就中此間島問題及鐵道問題ノ如キハ、内外國民ノ最モ重要視スル問題デアル、又日韓兩國ノ此間島方面ニ對スル經濟觀ハ如何、本年四月一日ニハ不凍港トモ謂フベキ彼ノ清津港ハ開港セラレ、ニアラズヤ、清津ヨリ會寧ニ至ル輕便鐵道ハ諸君ノ御承知ノ通り既ニ敷設セラレ、而シテ之ヲ改築シテ本鐵道ニスルハ容易ナルコトデアル、然ラバ韓國東海ノ產物及其陸產物ハ

何レノ點ニ集メ、何レノ地、何レノ道ヲ經テ北滿洲ニ輸出スルカ、日本北海ノ產物及遠キ樺太ノ產物ハ何レノ港ニ蒐集シテ、吉林及哈爾濱地方ニ出スカ、即チ間島ノ地ハ此經濟上ノ一大倉庫一大關門デアル、間島ハ諸君ノ知ラル、如ク鐵山森林ニ豐富タリ、百年ノ肥料ハ積シテ地盤百層ヲ成スケレドモ、境界定ラザル地ニ何ヲ以テ之ニ放資スル者アリマセウ、ノミナラズ開ク浦鹽港ハ、近ク自由港ノ尊ガアル、日韓東北海ノ產物ハ一此ノ、清津間島ニ據ラナケレバナラス、又軍事上ヨリ見マスレバ長白山ノ山脈ハ、恰モ以、佛國境ノ「アルプ」山デアル、若シ諸君モ御承知ノ通り、鹿島ハ如何、既ニ露國ニ橫奪セラレタルニアラズヤ、「ボセツ」ノ大砲臺ハ間島ノ眼下ニ在リ、僅ニ二百里内ニ在リ、李朝ノ大祖成柱ガ、能ク五百年ノ大業ヲ今日ニ遺シタルモ、亦此間島ニ在リ、北滿洲及哈爾濱ノドテ腹ヲ突クモ亦此間島ノ掌ノ裡ニアルノデアル、諸君二十七八年ノ戰役ハ何ノメデアリマセウ、二十七八年ノ大戰爭ハ如何ナルメデアアル、我日本ガ血ヲ流シ屍ヲ積ミ財ヲ費シ韓國ノ獨立ヲ扶植シ、而シテ我大帝國保護ノ下ニ置キシハ如何ナルメデアアル、實ニ東洋平和ノタメナリト斷言スルモ憚ラヌトコロデアルト私ハ思フノデアル、而シテ諸君我日本國保護ノ下ニ置カレタル韓國ノ現況ハ目下如何ナル程度マデ進メツ、アルヤ、其内政ノ秩序安寧ハ如何ナル點マデ進ミ治リアルカ、我國經濟ノ許サル、限リニ於テハ、是ガ機關ヲ設備シ之ヲ整理シツ、アルニモ拘ハラズ、獨リ最モ大切ナル其被保護國ノ國境ニ關シ、其解決ヲ見ル能ハザルハ、日本帝國ノ威信上實ニ遺憾ニ堪ヘザル次第デアリマセウ、固ヨリ各國間ニ於ケル保護關係ハ、勿論保護條約ヲ以テ其原始ト爲スガ故ニ、其相互國間ニ於ケル權利義務ハ場合ニ依リテハ多少ノ差違アリト雖モ、決シテ片務的ノモノナデナイ、必ズ雙務的ノモノデアル、果シテ然ラバ韓國ハ我日本ノ威信ニ飽マデモ信賴シ、其ノ生命財產其他萬般ノ事ヲ舉ゲテ之ヲ我保護ノ下ニ置イタノハ、何ノメデアアル、斯ル實證實證アル國境問題ニ關シ遷延未ダ解決ヲ見ル能ハズ、否ナ見ル能ハザルノミナラス、斯ル實證實證アル其全地ヲ舉ゲテ對手國ニ讓與セントスルニ於テハ、保護國ト稱ム韓國ハ其間ニ如何ナル感想ヲ惹起セキヤ、韓國人民ハ諸君ガ知ラレル如クニ最モ猜疑心ニ深キ人民デアル、且鞮固ナル意思ヲ有スルモノニアラズシテ、恰モ娼妓ノ情人ニ向テ普通ノ起誓證文ヲ認ムル如クデアル、斯ル狀況ナルコトヲ知ツタナラバ、如何ナル意思ヲ有スルニ至ルヤ、諸君、彼ノ密使事件ノ如キハ最モ近キ例證デアル、將又從來ノ實證ニ徴スルモ、或ハ清ニ結ビ、或ハ佛ニ誓ヒ、或ハ露ニ通ジ、或ハ米ニ媚ルガ如ク、普通ノ意思ヲ以テ之ヲ判斷スルコトガ出來ヌ人民デアル、要スルニ諸君、此問題ノ解決ノ遲速ハ直接ニ韓國統理上輕々ニ看過シ能ハザルトコロノモノデアル、軍事上ヨリ見ルモ、經濟上ヨリ見ルモ、韓國保護上ヨリ見ルモ、亦東洋平和ノ見地ヨリスルモ、此間島ノ得失如何ハ眞ニ日韓兩國ニ取リ實ニ一大重要ナル問題デアル、故ニ吾々國民トシテ一日モ早ク十分ナル解決ヲ見ント欲スルトコロデアル、故ニ茲ニ再び質問ヲ提出シテ以テ當局大臣ノ十分ナル答辯ヲ請ハントスルトコロノモノデアリマス、終リ臨ンデ諸君、當局大臣ハ世界有數ノ大外交家デアル、故ニ其解決ノ結果タルヤ前段ニ述ベタル正當ナル理由ト、其實證トヲ提ケ、其對手國ニ反省セシメ、日韓兩國國民ニ對シテ満足ナル結果ヲ與ヘラルコトハ信ジテ疑ハザルトコロナレドモ、曩ニ外交專門家タル望月君ノ質問ニ對スル答辯演說中ニ、外交ノコトハ雙方ノ不満足ヲ以テ完全トナスガ如キ、外交家ノ浮説ヲ聞キ、之ヲ外交大家ノ格言ナリト信ジ、外交ノ妙所ヲ誤ラレザランコトヲ希望スルノデアリマス、サナキ茲ニ諸君、列國ハ日本ノ外交ハ君子ノ外交ト稱讃アル今日ニ於テ、重ネテ君子國ノ名稱ニ背カザルトノ稱讃ヲ再び受ケザルヤウニ、豫メ御祭

リノ外交——外務大臣ニ請フノデアリマス（拍手起ル）
○議長（杉田定一君） 大竹貫一君

（大竹貫一君登壇）

○大竹貫一君 今日ノ場合如何ニモ質問テ諸君ノ御邪魔ヲスルヤウニ見エマスガ私ノ問ハント欲スルコトハ極メテ簡單デアリマスカラ、數分時間割愛サレントラ希望致シマス私ノ當局ニ問ハント欲スルモノハ、先般全國ノ商業會議所ノ諸君ガ東京ニ於キマシテ臨時聯合大會ヲ開カレシマシタ、而シテ此臨時大會ノ席上ニ於キマシテ増稅ニ反對ノ決議ヲ發表サレシマシタ、其増稅反對ノ決議ヲ發表サルコトニ付キマシテ、當局者ハ如何ニ感ゼラレシマシタカ、之ニ不當ノ干涉ヲ施サレタコトヲ私ハ承知シタルデアリマス、而シテ商業會議所ナルモノハ各其法律ニ定メタル範圍ヲ脫スルコトガ出來ヌモノデアル、然ルニ此商業會議所ノ決議ナルモノハ如何ニモ穩デナイ、其點ハドウ云フコトデアルカト申シマスレバ、斯ウ云フコトガ決議文ニ書イタルノデアリマス「是レ決シテ商業會議所ノ本分トシテ獨リ商工業者ノ利害上ヨリノミスルニアラズ國家經濟ノ大局ニ鑑ミ國民全體ノ休戚ニ付キ至誠ノ情實ニ忍ビザルモノアレハナリ」斯ノ如キコトヲ商業會議所ハ決議致シマシテ、法律ノ許ス範圍ニ於キマシテ當局ニ建議モシ、又私共ノ衆議院或ハ貴族院ニ向テ請願ヲシタルデアリマス、何故ニ當局者ハ商業會議所ノ此意見ニ付テ範圍ヲ脫シタルモノデアル、不埒ナルモノデアアルト云フ考ヲ我當局者ハ持タレタモノデゴザイマセウカ、此不當干涉ナルモノ、理由ヲ私ハ承知タリタルデアリマス、而シテ第二ニ問ハント欲スルコトコロノモノハ、此商業會議所ノ聯合會ニ出席スルタメニ全國各地ヨリ商業會議所ノ總代ガ上京サレタルデアリマス、此總代ナルモノニ向ヒマシテ、官吏ガ知合ノ者ヲ派遣ヲ致シマシタリ、或ハ刑事巡查ヲ出シマシテ尾行セシメル、斯ノ如クニシテ暗キ裡中ニ牽制ヲ致シマシテ、早ク東京ノ地ヲ去ラレタ方ガ宜イデヤナリカト云フ如キ感想ヲ起サシメタコト云フ如キ事實ガアルノデアリマス、私共ノ如キ平生政治舞臺ノ局面ニ立チマシテ、政府ニ反對ヲスルコトヲ致シマス者ハ構ヒマセウガ、彼ノ實業家ノ如キモノハ刑事巡查ニ尾行サレマス如キハ、餘程異常ナル感想ヲ起スノデアリマス、抑何故ニ斯ノ如ク政府ガ不當干涉ヲ爲シタルコトデアリマス、此一箇條モ聽キ得タイノデアリマス、而シテ今一箇條ハ明日即チ五日ニ於キマシテ全國ノ實業ノ團體ノ方々ガ、東京ニ於テ尙増稅ニ反對ノ意思ヲ表明スルタメノ會合ト云フモノガアルサウデアリマスガ、此實業組合團體ノ箇々別々ニ付キマシテ、當局者ガ御前ハ明日五日ノ會議ニ出席スルヤ否ヤト云フコトヲ戸別ニ就テ問ハルコトデアリマス、丁度恰モ藩閥政府ガ議會ヲ解散シマシタ曉ニ、總選舉ニ當リマシテ施スベキ處置ヲ今日ノ内閣ガ執ララルコトハ、果シテ如何ナル趣意ニ基クモノデアリマセウカ、今申上ゲルトコロノ二箇條ト云フモノハ、吾々帝國臣民ガ憲法ニ依テ保障サレシタル言論集會デアリマス、此言論集會ノ自由ナルモノハ最モ帝國臣民殊ニ此憲政有終ノ美ヲ濟サンコトヲ標榜セルコトコロノ今日ノ内閣ハ、大ニ尊重サレネバナラスコトヲ私ハ信ジマス、若シモ斯ル不當干涉ヲサル、コトデアリマシタナラバ、來ル總選舉ニ於キマシテモ、今ノ内閣ナルモノガ干涉セシメシマシテモ此疑問ヲ解クコトハ到底出來マスミト思ヒマス、是ハ我が憲政有終ノ美ヲ標榜セルル内閣ノタメニ深ク惜ムコトデアリマスカラ、幸ニ今日ハ當局者タル内務大臣ガ出席デアリマスカラシテ、速ニ此難解ヲ與ヘラレマシテ、是等ノ疑問ヲ解カレンコトヲ切ニ希望スルノデアリマス

○農商務大臣(松岡康毅君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマスルガ、聯合會議所ノ決議ニ對シテ農商務大臣ハ不當ニ干渉シタルコトハ少シモアリマセヌ
○大竹實一君 內務大臣ニ伺ヒマス、集會ノコトヲ……

(內務大臣原敬君登壇)

○內務大臣(原敬君) 唯今ノ大竹君ノ御質問ノ一半ハ內務省ニ關係ヲ致シマスルカ、私ヨリ答辯ヲ致シマス、聯合會議列ノタメニ上京ヲ致シタ者ニ官吏ヲ派遣シタリ、刑事巡查ヲ尾行セシメタノハドウ云フ譯カト云フ御説アリマスガ、モウ一ツノ聯合會云云ト云フ、次ニアルノトハ何レモ是ハ何カノ間違アリマセウ、新聞紙ナドニハチヨイノ左様ナルコトヲ書イテアリマスカラ、或ハ左様ナル御疑ガ起ツタコトカモ知レマセヌ、是ハ篤ト御調査ヲ願ヒタイ、政府ニ於テハ決シテ聯合會ニ出席ノモノニ付テ官吏ヲ派遣シ、若クハ刑事巡查ヲ尾行サシタコトハアリマセヌ、又實業組合聯合大會トカ申シマスモノヲ明日開クト云フコトアリマス、之ニ付キマシテモ警察官ヲ各組合員ニ就テ出席ノ有無ヲ聽イタナドト云フコトハ、有リ得ベカラザルコトデ、殊ニ組合員ノ數ニ付テ御考ニナリマシテモ、斯様ナルコトハ警察官ガ何千人アリト雖モ出來ナイト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ、要スルニ何カノ誤解アラウト思ヒマス、尤モ明日聯合會ヲ致シ付キマシテ、若モ是ハ唯組合員ガ集テ相談ヲ致シアラズシテ、政談ニ涉ルヤウナコトガアリマシテハ、相當ノ手續ヲ致サナケレバナラヌコトハ、明カナコトデアリマス、若シ其相當ノ手續ヲ致サナケレバ、法律上ノ制裁ヲ加ヘナケレバナラヌコトハ、勿論デアリマスカラ、或者呼ンデ注意ヲ與ヘタト云フコトハ事實デアリマス、組合員相當ノ會議ヲスルナラバ差支ナイガ、若シ誤テハイカスト云フコトハ、監視廳カラ注意ヲシタト云フコトハ事實デアリマス、是等ノ事ヲ聞傳ヘテ世間デ何カ干渉ガミイコトヲスルト云フ疑ヲ懷イタノカモ知レマセヌ、明日聯合會ヲ開クニ付、干渉スル意志ノ無イコトハ明カデアリマス、要スルニ是ハ誤聞ト考ヘマス、篤ト事實ヲ御調査ニナリマシタナラバ、自ラ了解スルデアラウト思ヒマス
○議長(杉田定一君) 日程ニ移リマス、日程第一鐵道敷設法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

(書記朗讀)

鐵道敷設法中改正法律案

第二條第一項中近畿線ノ部第四號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 三重縣下山田ヨリ鳥羽ニ至ル鐵道

第七條第一項中第十三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 近畿線定線ノ內三重縣下山田ヨリ鳥羽ニ至ル鐵道

同項中第十五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 九州豫定線ノ內福岡縣下小倉ヨリ大分縣下大分、宮崎縣下宮崎ヲ經テ鹿兒島縣下鹿兒島ニ至ル鐵道中大分縣下宇佐ヨリ大分ニ至ル鐵道

第九條中「壹億貳百萬圓」ヲ「一億三千三百五十萬圓」ニ改ム

○議長(杉田定一君) 遞信大臣

(遞信大臣原敬君登壇)

○遞信大臣(原敬君) 唯今日程ニ上リマシタコロノ法案ニ付テ、簡單ニ説明致シ

マスルガ、是ハ極メテ事實ノ明瞭ナル且簡單ナル問題デアリマス、即チ私設鐵道中ニ政府ノ國有ニ爲サヌ前ニ經營致シテ居タコロノ事ヲ、政府デ是カラ經營致スコトニナリマスルカラ、從テ此改正ヲ要スルデアリマス、又其費用ノ點ニ付キマシテモ法律上決テ致シテ居リマスコトコソノ額ニ達シテ居リマスカラ、此以上ノ仕事ヲ致スニ付キマシテハ、公債ノ額ヲ即チ財源ヲ増加致サナケレバナラヌ次第デアル、此財源ヲ將來ニ向ツテ著シク増加致スコト云フ次第デモアリマセヌガ、此線路ニ向ツテ相當ナル資本ヲ投ズルダケノ必要ナル部分ノ改正ヲ要スルデアリマスカラ、御審查ノ上御協賛ヲ願ヒマス
○議長(杉田定一君) 別段御質問モナイヤウデゴザイマスルデ次ニ移リマス、日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○元田肇君 二十七名ノ委員ト致シマシテ、議長指名アラシコトノ動議ヲ提出致シマス

○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ如ク、二十七名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルト云フニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、日程第三、國有林野法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第三 國有林野法中改正法律案(政府提出貴族院送 第一讀會)

(書記朗讀)

國有林野法中改正法律案

第二十六條中「及沖繩縣」ヲ削リ左ノ一項ヲ加フ

沖繩縣ノ國有林野ノ貸付、使用及賣拂並其ノ產物ノ處分ニ關シ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

附則

本法ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(杉田定一君) 農商務大臣

(農商務大臣松岡康毅君登壇)

○農商務大臣(松岡康毅君) 本案ハ御聽ノ通り一行餘リシカナイ誠ニ短イ案デアリマス、其內容ハ沖繩縣ノ山田申シマスルモノハ、從來處理致シマスルトコロガ、國有林野ノ處分法ト別ニ致シマシテ、其地ニ從來ノ慣行等ニ依リマシテ、先ヅ謂ハム適宜ノ處置ヲ致シテ居リマシタト申スノハ、所屬等ニ付テ調査ガ行届カナカタガタメニ、斯ノ通りデアリマシタ、所ガ、一昨年カラ山田處分ト云フモノヲ致シマシテ、段々片付イテ參リマシテ、最早民有ニ屬スベキモノト、國有ニ屬スベキモノノ區分モ立チマシタコトデゴザイマスルノデ、ソレ故ニ之ヲ管理スル方法即チ內國ノ山林ト同一ノ管理方法ニ大體移ス方ガ宜イ、ソレカラ其中幾分ハ例外ヲ設ケヌケレバ處分スルトコロニ於テ差支ガアル、故ニ勅令デ例外ヲ設ケルコトヲ得ルト申スコトヲ設ケタダケノコトデゴザイマス、誠ニ簡單ナモノデアリマス、シテ貴族院モ極ク速ニ通過ヲ致シマシタコトデゴザイマスカラ、本院ニ於キマシテモ宜シク速ニ御贊成アルコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 別段御質問モナイヤウデスカラ、次ノ日程ニ移リマス、日程第四、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○元田肇君 議長指名ノ九名ノ委員ニ付託アラシコトヲ希望シマス
○議長(杉田定一君) 元田君發議ノ通り、九名ノ議長指名ノ委員ニ付託スルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○議長(杉田定一君) 御異議ハナト認メマス

○鈴置倉次郎君 議長——緊急勸議ガアリマス

○議長(杉田定一君) 鈴置倉次郎君——登壇ヲナサイ

(鈴置倉次郎君登壇)

○議長(杉田定一君) 簡單ニ要領ヲ御述ベニナルヤウニ……

○鈴置倉次郎君 本員ハ茲ニ緊急勸議ヲ提出致シマス、朗讀致シマス、「本日ノ議事日程第五號ヨリ第十號ニ至ル議案ノ議事ハ、四十一年度總豫算議決ノ後マデ之ヲ延期ス」ト云フ緊急勸議アリマス、是ハ増稅案ノ先決問題アリマス、之ヲ會議ニ附シマス

○議長(杉田定一君) 暫ク御待チ下サイ——唯今鈴置倉次郎君ヨリ本日ノ議事日程第五號ヨリ第十號ニ至ル議案ノ議事ハ、四十一年度總豫算議決ノ後マデ之ヲ延期ス」ト云フ緊急勸議アリマス、是ハ増稅案ノ先決問題アリマス、之ヲ會議ニ附シマス

○議長(杉田定一君) 議事日程ノ變更ノ緊急勸議デゴザイマス

○議長(杉田定一君) 先決問題アリマス、變更ニハ及ブマイト思フデゴザイマス

(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○長谷場純孝君 免ニ角緊急問題デゴザイマセウ

○議長(杉田定一君) 左様デス

○長谷場純孝君 其緊急問題ノ趣旨ハ今御朗讀ニナツタ通りト承知シテ宜シウゴザイマス

(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

○議長(杉田定一君) 左様デス(「説明ヲシ給ヘ」ト呼フ者アリ)今説明ヲ聽イテ居ル

議員ハ須ラク政府ニ向テモ當路者ニ向テモ忍ブガ上ニ忍シテ貫ヒタイ、節約スルガ上ニモ節約シテ貫ヒタイト云フノガ當然ナル、之ヲ先ニ致シマシテ、而シテ此歳計ノ上ニ於テ遺憾ナカラズ、其場合ニ於テ増税ノ必要モゴザイマセウ、併ナガラ今此處ニ於テ咄嗟ニ増税案ヲ議スルハ豫算ノ議定權ヲ衆議院ニ預ケナガラ豫算ノ上ニ一厘一毛ノ削減モ與ヘナイト云フニ等シキモノデアル、斯ノ如クンハ政府ト云ヒ諸君ト云ヒ此豫算ノ上ノ議定權ハ何ノタメニ與ヘラレテ居ルカ、此議定權ヲ喪失セントスルガ如キハ政友會ノ諸君ノタメニ私ハ悲マザラ得ヌ、私ハ此場合ニ於キマシテハ諸君ガ誠意誠心憲政擁護ノ上ニ力ヲ注イタナラバ、先ヅ此モノ、順序ヨリ此豫算ヲ確定シテ、後ヲ議スルコトガ當然アルト思フ、ソレ故ニ長谷場君ニ敢テ勸ムルノハ、唯今ノ動議ハ院内首領ノ面目ヲ維持スル上ニ於テ御撤回ヲ希望致シマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(杉田定一君) 討論終結ノ聲ガアリマスガ、討論終結ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——採決致シマス——此鈴置倉次郎君ノ動議ハ、此日程第五ヨリ第十二ニ至ル増税案ニ關聯スル議案ノ議事ヲ延期スルト云フトコロノ動議、即チ此先決問題ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、鈴置君ノ先決問題ハ否決セラレマシタ——チヨット御諮リ申スコトガアリマス、日程第五ヨリ第十ハ同一委員ニ付託シテアリマスノデ、一括シテ報告サセマス、栗原亮一君

- 第五 酒造税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 酒精及酒精含有飲料税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 麥酒税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 砂糖消費税法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 石油消費税法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

〔栗原亮一君登壇〕

○栗原亮一君 地租條例中改正法律案外二十九件ノ審査ヲ特別委員ニ付託サレマシタガ、其中増税ニ關スルモノト、税法整理案ニ關スルモノト、此二ニナツテ居リマス、數多ノ議案デアリマシテ、且四十一年度ノ追加豫算ガ既ニ提出ニナツテ居リマシテ、是ガ増税案ト關聯シタルトコロノ豫算デアリマス、因テ此三十件ノ中増税ニ關係シタモノダケヲ採イテ、之ヲ先キニ審査スルコトニ致シマシテ、整理案ニ關スルモノハ後トニ審査ヲ讓ルコトニシタノデアリマス、茲ニ報告致シマスノハ増税ニ關スル議案ダケニ付テ審査ヲ終ヘタノデアリマス、整理案ノ方ハ審査ノ結了シタ後ニ於テ更ニ報告スル手續ニアリマス、此委員會ハ四回程開キマシテ慎重ノ調査ヲ致シタデアリマス、イロ／＼此

増税案ニ付キマシテ反對論ガアリマシタガ、其要點ハ今年度ニ於テ増税スルノ必要ガナイ、是ガ反對論ノ骨子デアリマシタ、前議會ニ於キマシテ四十一年度豫算ヲ議スルニ當ツテ、翌四十一年度——豫算ニ於ケル財源ヲ如何ニスルカト云フトコトガ重大ナル問題トナリマシテ、其項豫算委員會ノ報告ヲ致シタデアリマスガ、其時四十一年度ノ財源ヲ如何ニスルカト云フノ問題ガ起リマシテ、即チ此四十一年度ニ於キマシテハ、臨時軍事費ノ剩餘金ノ繰入ガ、一億圓デアリマシタノデ、四十一年度ハソレデ宜シイガ、併シ四十一年度ニナツタ時分ニハ、既ニ臨時軍事費ノ剩餘金ハ何時マデモアルモノデナイカラ、之ニ代ルベキ約一億圓ノ財源ガアルヤ否ヤ、是ガ問題ニナツテ當時此代リ財源ノ凡ソ見込ノアルコトヲ諸君ノ前ニ報告ヲ致シタデアリマス、其代リ財源ハ浮屠收容費約四千七百圓、三十八年度ニ於テ剩餘金約五百萬圓、臨時事件費ノ剩餘金約三千萬圓、三十九年度ノ歲入豫算ニ對シ實收超過見込額、即チ其收入ノ見込立テ方ガ確實過ギルカラ豫算以外ニ收入ノ殖エルモノガ約三千二百萬圓アルテアラウ、之ヲ合セテ一億四千四百萬圓位アルカラ、四十一年度ニ至ツテ四十一年度ノ如ク臨時軍事費剩餘金一億圓ノ繰入ガ無クテ代リ財源ガ大體斯ノ如キ見込ガアルカラ、四十一年度ニ於テ決シテ一億圓ノ、缺陷ヲ生ズルノ恐ハ先ヅ無イ見込デアル、ト云フコトヲ諸君ノ前ニ報告ヲ致シタノデアリマシタ、若モ此報告ニ致シマシテ、大ナル誤ガアリマシタナラバ、私ハ諸君ノ前ニ對シ責任上甚ダ濟マヌノデアリマス、能ク審査ヲ致シマシタ、前議會ニ於テ報告ヲ致シタコロノ一億以上ノモノハ、固ヨリ大體ノ見込デ、多少ノ相違ヲ生ズルコトハ豫期シテ居タノデアリマスガ、此四十一年度ノ財源ニ繰入レタ一億圓以上ノモノハ、前回報告致シタ財源中、浮屠收容費ハ四千七百萬圓餘ノ見込デアリマシタガ、果シテ四千七百四十五萬圓アルマシタ、ソレカラ三十八年度ノ剩餘金五百萬圓ヲ見積リマシタガ、三十九年度ノ剩餘金ハ二千三百萬圓餘アルマス、而シテ臨時軍事費ノ剩餘金是モ四千九百萬圓餘アルマス、昨年ノ報告ノ時ニハ歲入ノ自然増加ガ凡ソ三千萬圓申シタデアリマシタガ、四十一年度ノ歲入ニ繰入タ中ニハ歲入ノ自然増加約三千萬圓ハ省イテアリマス、此増加ハ必ズアラウケレドモ先ヅ確實ニ見積ルタメニ省イテ見マシテモ、都合セテ一億九百萬圓即チ昨年ノ豫算ノ時ニ報告致シタ一億九百萬圓ト云フモノニ對シ、事實四十一年度ニ繰入ニナツテ居ル財源ハ、一億九百萬圓バカリデアリマスカラ、是ハ昨年申シタ豫想ヨリモ却テ五百萬圓バカリ多イノデアリマス、即チ此事ハ諸君ニ御報告申シ上ケテ、諸君ノ大多數ヲ以テ豫算委員會ノ報告通り成立シタノデアリマシタガ、此事ハ昨年申シタコトト違ハヌト云フヨリ、寧ロ五百萬圓モ増加シタノデアリマスカラ、諸君ガ此財源ヲ見込シテ豫算ヲ協贊ナサレタノハ決シテ首從デナカッタト云フトコトガ今ニ於テ事實明カニナルノデアリマス、既ニ其四十一年度ノ財源、一億圓バカリノ財源ガアツタノデアリマス、シテ見レバ四十一年度ニ於テ増税ノ必要ハナイノデアルガ、何故増税ノ必要ガアルカ、是ガ最モ委員會ニ於テ審議ノ要點トナツタノデアリマス、四十一年度ダケナラバ歲出入ノ權衡ガ附クノデアリマスガ、四十一年度ノ現計剩餘金タルベキモノガ約二千三百萬圓アル、併ナガラ是ハ四十一年度ノ財源ニ充ツベキモノデ、四十一年度ノ財源ニ直ニ繰入使用スルコト云フトコトノ出來ナイ勘定ニナツテ居ルノデアリマス、今回ノ此増税計畫ノ總額ハ約二千萬圓デアリマシテ、煙草專賣ノ率ヲ上ゲタメニ約一千万圓ノ増加ガアリマス、之ヲ別ニ致シマシテ増税ノミニ於テ約二千万圓トナルノデアリマス、此二千萬圓ノ増税ト云フモノガ、全部四十一年度ニ於テ收入トハナラヌノデアラ、諸君今回ノ増税ハ四十一年度ダケ目ヲ塞イデ渡ルト云フナラバ、辛ウシテ其出入勘定ハ合ッ

テ居ルノデアリマスレドモ、四十一年度ニ於テ又其以後ニ於テ歳入ニ不足ヲ生ズル
ト云フコトが現實ニ分ツテ居ルノデアリマスレカシテ、是ニ於テ四十一年ニ於テ増税ノ
計畫ヲ實行シテ歳入ヲ求ムルコト云フコトヲヤラナクテハ、四十一年度ニ於テ大ナル缺陷
ヲ生ズル、増税ハ其年致シマシテ直ニ豫定通り取レ、即チ消費ヲ大ニ減ズルノ虞
ガアリマスレカシテ、全額ニ於テハ二千万圓取レル計畫ノモデアリマシテモ、消費ガ減
ジマスレカシテ、先ヅ五百万圓ト云フモノハ確實ニ取レヤト云フ見込ヲ以テ、四十一年
年度ノ財源ニ繰入レテアルノデアリマシテ、僅ニ此五百万圓ケト云フモノガ四十一年
度ノ財源ニナラバ本年ヤラナクテモ宜シイデハナ
イカト云フ議論ガアッタデアリマスレドモ、併シ四十一年度ニ於テ増税計畫ニ著手シナ
クテ四十一年度ニ至テ俄ニ此増税計畫ヲ致スト云フ時分ニハ、大ニ歳入ニ不足ヲ生
テ増税ヲ致シテモ四十一年度カラヤッタ時分ニハ、歳入ニ於テ約千六百万圓カラノ不足
ヲ生ズルト云フ豫定ニナラバ居ルノデアリマス、即チ今回ノ増税ハ四十一年度ノ財源
ガ不足アルト云フニ非ズシテ四十一年度以降其歳出入ノ均衡ヲ保タネバナラヌ、即チ
財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フノ趣意カラ出テ居ルノデアリマスレドモ、ドウシテモ四十
一年度ヨリ増税計畫ニ著手スルコト仕方ガナイト云フノガ賛成論ノ趣意デアッタデアリ
マス、増税ト云フコトハ是ハ難有クナイ話デアリマスレドモ、國家財政上已ムコトヲ得ズ
シテアルノデアリマス併シ又國民ハ現在此負擔ノ上ニ負擔スルト云フノデアリカシテ、政
府ニ於テモ必要ノ事業デアレドモ、出來得ル限り又出來ヌ所迄モ忍ビテ此事業ヲ繰
延ヲ致シ、官民共ニ相忍ビテ此財政ノ計畫ヲ立ツルト云フノ趣意ニナラバ居ルノデアリマ
シテ、一方ニハ増税ヲ煙草ト共ニ合セテ三千万圓ヲ計畫致シ、サウシテ又一方ニハ此繰
延事業ト云フモノガ餘程アルノデアリマシテ、四十一年度以降ニ於テ繰延ノ總額ト云フ
モノガ凡ソ一億二千六百万圓餘トナラバ居ルノデアリマス、其大凡ノ内譯ヲ申シマスレト
内務省所管ニ於テ三百五十万圓餘ノ繰延、是ハ河川ノ改良費ハ内譯ノ道路橋樑排
水費デアル、是等ハ皆必要ノ事業デアリマスレドモ、財政上之ヲ繰延ヘルノ計畫ニ
ナラバ居ルノデアリマス、大藏省所管ニ於テハ、八百七十万圓餘ノ繰延トナリマシテ、是ハ
横濱税關、海面埋立、及陸上ノ設備費、神戸ノ税關、海陸運輸聯絡設備費、煙草
事業ノ創業建設費、是等ハ皆必要ノ事業デアリマスレドモ、出來得ルルケノ政府ニ於テ
繰延スルト云フ計畫デアリマシテ、其他ニ於テハ陸軍省ニ於テ繰延是ガ凡ソ六十六万
圓、即チ軍備ノ充實ニ付キマシテ、海軍省ノ方ガ五千二百八十万圓餘、是ハ軍艦製造及
シテ繰延トナラバデアリマス、海軍省ノ方ガ五千二百八十万圓餘、是ハ軍艦製造及
建築費、艦艇補足費、合セテ此陸海軍ノ繰延ト云フモノモ總計一億千三百萬圓餘
トナラバデアリマス、斯ノ如ク一方ニハ此繰延ヲ致シ、其足ラザル所ヲ増税ヲ補フト云
フ内容ニナラバ居リマシテ、是等ハ皆必要ノ經費デアリマスレドモ、前申ス通りノ財政
上已ムコトヲ得ザルコトニ依テ繰延トナラバデアリマス、併シ鐵道ノ如キハ最も生産的必要
ノモノデアリマスレカシテ、是ハ既定ノ約三千萬圓ト云フモノハ繰延ニナラバ居ラナイノ
デアリマス、要スルニ今回ノ増税ナルモノハ、必ズシテ此四十一年度其年ノ金ガ足ラヌト
云フコトヨリハ、翌年又其後年度ノタメニ歳入ヲ確實ニ致シテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニス
ル、寧ロ此増税ハ今日ノ場合ニ於テハ財政上ノコトモ無論デアリマスレドモ、今日ハ内
外人共ニ日本ノ財政ガ如何ニ成行ウカト云フコトガ、大層氣遣フ所デアリマスレカシテ、
茲ニ財政ノ基礎ガ立チマスレナラバ、大ニ内外ニ經濟上ノ安心ヲ與ヘル譯デアリマス、
先ヅ其大體ノ趣意ト云フモノハ寧ロ是ハ經濟上ノ安固ヲ圖ルコト云フニ在ルモノト信ズル
ノデアリマス、凡ソ斯ノ如キ趣意ヲ以テ委員會ハ此等ノ増税案ヲ可決スベキモノト決シ
タデアリマシテ、即チ此酒、砂糖、石油ノ稅デアリマス但シ此石油ニ付キマシテハ委員會

ニ於キマシテ反對論モアッタデアリマス、然シ委員會ニ於テ此石油稅反對者ノ少數デアリマ
シタ大體ハ此原案ニ於テ改正ハ多クナカッタデアリマシテ唯此増税ノ各法案中委員會ニ
於キマシテハ一ノ修正ガアッタデアリマス、是ハ第五條中ノ改正ニシテ造石數ノ現行制限
高清酒ハ百石潤酒ハ五十石焼酎ハ五十石トアリマスノ「清酒ハ二百石潤酒ハ百石
焼酎ハ十石」トシ、請リ此製造石數ノ制限ヲ高メタデアリマス、是ハ其制限ヲ百石デ
アッタモノガ二百石ニナルト云ヘバ、大キナ酒屋ハ利益ヲシマスレドモ、小サイモノガ餘程
アルカラシテ大變ニ迷惑スル譯デアリマス、要スルニ此石數制限ノ改正ヲシナイデ
現行ノ通りニ止メテ置キタイト云フノガ、此修正ノ要點デアリマシタ、此修正案ハ委員
會ニ於テ多數ヲ以テ成立シタデアリマス、即チ第五條中ノ改正案ガ否決ニナラバ結果ト
致シテ附則第二項ヲ削リタデアリマス、是ハ自然ノ結果デアリマス、其他二三ノ修正説
モ出タデアリマシタ、其一二ヲ舉ゲマスレバ酒ノ納稅期三月限ヲ翌年五月限トシタイ
トノ修正案、是ハ宿題デアリマシタガ、三月中デハ酒造中デアリカシテ、翌年ノ五月ニ
ナラバ納稅ヲシタイ、是ハ酒造者ノ方ニ取テハ甚ダ便利ナラバデアリマス、政府ニ對シテモ
種々質疑等モ致シタデアリマスレドモ、何分三月限リト云フノガ年度末デアリカシ
シテ、翌年度ノ五月ニ持ッテ行クト云フコトハ、政府ノ歳入上甚ダ困、或ハ一時ノ大
藏證券ヲ發行シテ間ニ合ハシテ置クガ宜イト云フケレドモ、餘リ多ク大藏證券ノ出
ト云フコトハ經濟界ニモ喜バレヌ話デアル、又大藏省ノ手許ニ於テモツレハ甚ダ困ルト云
フコトデアリマシテ、是ハ委員會ニ於テ修正説ハ出マシタケレドモ、否決ニナラバデアリマ
ス、今一ツハ火入減量自分ノ三以內ヲ控除致シテ、夫レダケ稅ヲ減ジテ貰ヒタイ、斯ウ
云フ修正説モ出マシタ、是モ少數ヲ以テ否決セラレタデアリマス、此委員會ノ出
席總數ハ四十二名、増税案ノ全部ヲ否決スルト云フノ論者、四十二名ノ中デ十六
名、増税案全部ヲ可決スルト云フ論者ガ二十七人デアリマシタ、ウレカラ石油稅ハ又
別ニ決テ採リマシテ、此石油稅ヲ否決スルト云フノ論者ハ、四十二名ノ中十六名、可決
スベシトノ論者ハ二十七名デアリマシタ、此ノ如ク酒ト砂糖ト稅ガ上ガリマスレカシテ、
外國ヨリ輸入スル酒類、砂糖ニ對シテモ其稅率ヲ高メナクテ權衡ヲ得ヌデアリマスレカシ
テ、此主意ヲ以テ關稅稅定率法輸入稅表中ノ改正法律案ガ出テ居リマス、是ハ自然ノ
結果トシテ可決ニナラバ原油ガ今ノ廉イ稅率ヲ這入デ來タ時分ニハ、其原油ノミガ多ク
這入デ來テ、精製油ノ方ノ輸入モ減ル、サスレバ此稅額モ減リ、殊ニ石油ハ内地ニ於
キマシテモ、段々發達ノ場合デアリカシテ、外國ヨリ輸入スル所ノ原油ノ方ノ稅率ヲ、
此儘ニシテ置イテハ、外國ヨリ輸入ガ益々増加スル次第デアリマス、是ハ内地ノ石油
ヲ保護スルタメ、又權衡ヲ得ルタメニ相當ナル率ニ上ゲルト云フコトガ當然デアリマシテ、
此事ハ政府ニ質問致シタ所ガ政府ニ於テモ無論其必要ヲ認メ、追テ其改正案ヲ提出
スルノ選ビニナラバ居ル、ト云フコトデアリマシタ、サスレバ是ガタメニ、内地ノ石油ノ業ガ
衰退スル恐レモナク、其權衡ヲ得ルノデアリカト云フ主意ヲ以テ、此三案共ニ委員會
ニ於キマシテハ、今申ス通りノ多數ヲ以テ可決ヲ致シタデアリマス、此段御報告致シ
マス

(拍手起)

○議長(杉田定一君) 右ノ報告ニ係ル各案ハ、増税ニ關スル議案デアリマシテ、皆
之ニ關聯スルトコロノモノデアリマスレド、便宜上一括シテ議題ニ致シマス、即チ日程第
五ヨリ第十ニ至ルマデノ各案ヲ一括シテ議題ニ供シ、ウレカラ採決ノ方法ニ至ッテハ、其
場合ニ臨ミテ又御諮リヲ致シマス、——大津淳一郎君

(大津淳一郎君登壇)

(拍手起ル)

○大津淳一郎君 諸君、本員ハ申スマデモナク、増税案ニ反對スル者デゴザイマス、前日ノ委員會ノ趨勢カラ考ヘテ見マス、餘程賛成ノ御方ノ多數ニアルト云フコトハ認メラマス、縱令此議題ニ於テ本員等ノ意見ガ貫徹サリデアルモ、自ラ信ジテ本員等ノ説ハ國民輿論ノ歸著スルコトコロアル信ジテ居ルデゴザイマス、(「ノウノウ」)

「ヒヤノ」ト呼フ者アリ 賛成ノ諸君ハ去ツテ縣地ニ歸リテ輿論ノ反抗ヲ受ケタト云フメニハ、本員等ノ説ヲ謹聴ニ謹聴シテ、而シテ辯解ノ方法ヲ今日ヨリ御講ジニナツテ居ルノガ宜イト思フデゴザイマス、(「無用ニ」)

「要ラヌ御世話」ト呼フ者アリ 是ガ親切ト云フノデア、本案ニ對シマシテ提出ノ際ニ述ベラレタ大藏大臣ノ説明、及委員會ニ於テ再應述ベラレタ説明、及水町政府委員ノ質問ニ答ヘラレタ演説、何レモ其要領ヲ得ナイノデア、由來大藏大臣ハ不得要領ヲ以テ天下ニ名アル御方デアアルケレドモ、斯クマデニ要領ヲ得ナイ御説明デハナカラウト思フデア、(「君ノ演説ハドウデア」)

「ト呼フ者アリ」 然ラバ此多數本案ニ賛成スル方ガアルト假定シタナラバ、賛成ノ諸君ヨリ果シテ此増税ノ必要ナルヤ否ヤノ十分完全ナル理由ヲ御説明ヲ聴キタイノデア、ケレドモ見渡ス所御賛成ノ諸君ニ當議場ニ於テ完全ナル理由ヲ述ベラレル御方ハ一人モナカラウト思フデア、諸君、昨年ノ郡制廢止案ニ依レバ、花井卓藏君ナド辯護論ニ御頼ミニナツタ、當年ハ花井君ハ是ニハ御免ヲ蒙ルダラウト思フ、然ラバ私共ノ親友殊ニ尊敬シテ居ル尾崎行雄君デ、モアラウケレドモ、今日ノ地位カラ云ヘバ賛成位ノ投票ハ已ムヲ得ヌデアアラウト思フガ、マサカニ現内閣ヲ信ジテ辯護論ノ賛成演説ヲスル程ニ良心ハ親友デアアルカラ麻痺シテ居ラヌト私ハ思フデア、(「無禮ヲ云フナ」ト呼フ者アリ)

然ラバ他ニ此増税案ニ對シテ完全ナル理由ヲ以テ賛成スル御方ハナイデア、縱令賛成ノ諸君ハ本員等ノ反對説ヲ聴イテ枝葉末節ヲ抑ヘテ、所謂委員會ニ於ケル大岡一流ノ毒舌ヲ逞ウスル位ニ止ルモデアアラウト私ハ思フデア、(「笑聲起ル」)

「君ハ何デヤ」ト呼フ者アリ 凡ソ政治家ナル者ハ、眞面目——マシメナケレハナラナイデア、(「ツレガマジメカ」ト呼フ者アリ) 吾々ハ常ニマシメヲ以テ政治上ニ於ケル一番即チ德義ヲ信ジテ居ル、前年西園寺内閣ノ組織セラル、ヤ、政友會ノ總裁トシテ戰後ノ内閣ヲ組織セラル、ニ於テハ、定メテ立憲ノ行動ヲ以テ戰後ノ經營ヲ完全ニセラル、コトデアアラウト私共ハ信ジタ、ソレ故ニ前ノ四十年度ノ計畫ヲ議スルニ當リテモ豫算委員會ニ於テ吾々ノ同志ハ屢々其計畫ノ大ニシテ將來ニ於テ困ルコトハアリハセヌカト云フコトヲ屢々御忠告ヲ申シタガ、斯ノ如キ計畫ヲ遂行スルコトニシナケレバ、決シテ今日ノ狀態相成ラヌト云フ確言ガアツタデア、當時吾々ハ之ヲ過信シタデア、然ラバ其計畫中ノ生産力ノ發達ト云フ方ニ向テハ惜イ哉更ニ政府ノ計畫ガナイニ付テ、此點ニ向テハ、モウ少シ積極の方針ヲ以テ生産力ノ發達、所謂國力ノ發展スルコトヲ希望シタデア、是ハ諸君ガ鬼ノ首デモ取ツタウニ喜ンデ居ラル、彼ノ鳩山博士ガ、アタ方ノ御組デアアルカラ能ク御聽ニナルト直様分ルデア、既ニ四十年度ノ豫算計畫ニ當リテハ、大ナル豫算ノ計畫ヲ御實行ニ困リハセヌカト屢々忠告シタコトハ、水町次官ノ逃ゲ口上デハナイケレドモ、當時ノ速記録ヲ御覽ニナルト能ク分ツテ居ル、果シカナ、政府ハ一週年ヲ過ギザル四十一年度ノ豫算編成ニ當リテハ、少シモ豫言シタコトノ計畫ヲ遂行スルコト能ハズシテ、又増税ハ一切セヌト云フ大藏大臣ノ説明ヲ無ニシテ、僅ニ三言兩言ノ財界ノ變動ニ藉リテ自立テ計畫ヲ自ラ破リテ、而シテ又茲ニ國民ニ斯様ナ増税ノ負擔ヲサセヤウト云フ止マルデア、凡ソ増税ヲナサントスルニ當リテハ、政府全體ノ計畫ニ於テ、極メテ國民ニ斯様ナ計畫ナルガ故ニ、前途爲シ得ザル——斯様ナ狀態ナルガ故ニ増税ヲシテ之ガ計畫ヲナサデヤナラヌト云フコトガ、明カニ分ツテ而シテ後ニ増税ノ已ムヲ

得ザル案ヲ提出スルト云フノデナケレバナラヌ、又増税ヲナサントスルニ當リテハ、生産力即チ國民ノ生産力ノ力ヲ増サントスルコトガ、若クハ生産力ノ稍々發達シツ、アルト云フ狀態ノ場合ニ際會シナケレバ、増税案ヲ提出スルコトハ出來ナイノデア、然ルニ現内閣ハ財政計畫ノ上ニ於テハ、自ラ立テテ計畫ヲ一週年ナラズシテ、之ヲ變更續延シテ國民ニ贊成大藏大臣ガ増税ハ致サヌ積リデアアルト云フヲ、再ビ増税案ヲ提出スルト云フガ如キハ、何タル失態デゴザイマス、而シテ生産力ト云フ方ニ向テハ、戰後ノ經營ヲ引受ケテ居ル内閣デアリナガラ、既ニ三箇年ニ互リ、四十一年度ノ豫算ヲ提出スルマデニ當リテ如何ナル生産力發展ノ方法ニ向テテ計畫ヲ立テラレマシタガ、生産力發展、國民ノ富力ノ關係ハ——計畫ハ西園寺内閣創立以來是ト申スベキモノハ一モ見エヌデアアル(「ツレハ眼ガ見エナイノ」ト呼フ者アリ) 僅ニ一時諸君ノ小供ダマシノ如クニ喜ンダ、彼ノ國有鐵道デゴザイマス、國有鐵道ハ用井ヤウニ依ツテハ、議論ノ上ニ於テハ、如何ニモ生産力發展ニ必要ナルガタメニ國有鐵道トスルコト云フ議論モ立タナイデア、併ナガラ現内閣ハ此議論ヲ以テ鐵道ヲ國有トシタ後ノ狀態ハ如何デア、諸君、餘リ人ノ前デハ其結果洵ニ完全デアルトハ、如何ニ政友會ノ諸君デモ内證デナケレバ言ヘヌ言葉デア、國民ノ生産力ヲ發展スルコト云フ計畫ハ皆無ニシテ、前年立テタ大ナル豫算計畫ハ之ヲ實行スルコト能ハズシテ、僅ニ一箇年後ニ其計畫ヲ變更シテ、而シテ斯様ニシテモ尙不足ガアルカラ、國民ハ又税ヲ出セト云フ如キハ、實ニ亂暴極マル行デアルト私共ハ信ズルデア、又(「簡單ニ要領ダケ言ヘ」ト呼フ者アリ) 吾々ノ此増税案ニ反對スル趣意ニ於テハ、政府ガ財政計畫ニ果シテ能力アリト信ジ、現内閣ガ財政計畫ノ能力アルモノトスレバ、斯様ナ増税案ヲ提出セズトモ、優ニ將來ノ計畫ヲ爲シ得ルモノト私共ハ信ズルデア、諸君、現在ノ財政、今提出シテ居リマス、コトコロノ財政計畫ノ上ニ於テモ、此増税ヲナサズシテモ尙四十二年ニ繰越スベキ金額ガ三千二百萬圓デア、ゴザイマス、此増税ヲナサズシテモ尙四十二年ニ繰越スベキ金額ガ三千二百萬圓デア、約五百萬圓ノ經費ヲ要スルガタメニ此増税ヲナサズシテモ尙四十二年ニ繰越スベキ金額ガ三千二百萬圓デア、殊ニ今年度ノ計畫ヲナサントスルニ當リテ、今少シ政府ガ決心ヲシテ、斷乎タル財政計畫ヲ立テ、後年度ニ於テ又其計畫ヲ爲ス決シテ遲イトハ、私ハ信ジナイデア、ツレ故ニ吾々ハ現内閣ハ財政計畫ヲ確乎タル方針ヲ立テル能力ナシ、國民ノ生産力ヲ富マスト云フ計畫ヲ爲ス能力ナシ、戰後經營即チ戰後ノ效果ハ「ゼロ」ニナツテ居ル、現内閣ノ増税案ニ向テハ斷シテ反對ヲシテ、國民タルモノハ一錢タリトモ此上ニ税ヲ出スノ必要ハナイト信ジマス(「分ッタク」ト呼フ者アリ) 諸君、彼ノ非常特別税——非常特別税ナルモノハ所謂其名ノ如ク戰爭中ニ經費ニ充ツベキノ故ヲ以テ、徵收シタル非常特別税戰後ノ經營其儘ニ充テ、斯ノ如キ重大ナル既ニ増税案ヲ可決シテ、之ヲ使用スル權能ヲ有ツテ居リナガラ、尙又飽足ラズシテ此増税案ヲ提出スルコト云フガ如キ、抑、亂暴ナル處置ト云フヨリ外ハナイノデア、非常特別税ハ實ニ非常困難ノ際ナルヲ以テ國民ハ已ムヲ得ズシテ之ニ應ジタデア、而シテ此際國民ニ反對ガナカッタ故ニ、此税以外ニマデ國民ニ負擔力ガアル認定スルノ抑、大ナル間違ナラデア、此増税案ヲ否決致シマシテモ、前ニ述ベタル剩餘金ヲ以テ僅ニ五百萬圓ヲ支出シ、尙吾々ノ希望スルコトコロハ當ニ此五百萬圓ヲ支出シ得ルノミナラズ(「能ク分リマシタ」ト呼フ者アリ) 政府ガ自カラ繰延ベヤウトシタル事業費、中河川改良費ノ如キ、橫濱稅關海面埋立及陸上設備ノ如キ、神戸稅關海陸運輸聯絡設備ノ如キハ、之ヲ復活シテ、而シテ尙支出スル餘地ガアラウト私共ハ信ズルデア、斯ノ如キ即チ生産力ニ關係シテアルモノコト、繰延ト云フコトヲセズ斷行ヲセラレテ、而シテ生産力以外ノモノニ於テハ又此繰延バカリデナク、他ニ又大ニ計畫ヲ爲スベキ餘地ハ豫算全部ノ中ニ十分ニアルト信ズ

ルノアル、抑、剩餘金ナルモノハ、翌々年度ニ繰越スベキ性質ノモノデアラフ、決シテハ政府ガ自儘ニ使拂フコトハ憲法上許サズモノト吾々共ハ信シテ居ルノアル、帝國議會ノ協賛ヲ經ザルコトハ憲法上許サズモノト云フコトハ決シテ許サズモノデアアルガ故ニ、豫算ノ上ニ第一豫備金第二豫備金ト云フ性質ノモノガ既ニ計上シテアルモノト吾々共ハ信シテ居ルノアル、諸君此當議會第一議會以來ハ本員等ノ議論ヲ以テ憲法違反トシテ、而シテ剩餘金ノ支出ハ斷然禁ジテ居タルモノデアアル、日清ノ戰ニ當リテ廣島ニ於テ議會ヲ開イタ時分ニ、出師準備ノタメニ剩餘金ヲ支出シタコト云フ場合ニ、已ムラ得ズシテ之ニ同意ヲ與ヘタルノ慣例トナシテ、政府ハ毎年帝國議會ノ協賛ヲ經ザルコトヲ剩餘金ヲ一千萬圓以上二千萬圓以上モ支出シ來ルノデアアル、是等ノ如キハ即チ憲法上ノ問題ノミナラズ、財政上ノ問題トシテ斯様ナ途ハ禁ジタコト云フ考ヲ常ニ有デ居リマスルガ故ニ、今カラ之ヲ翌々年度ニ繰込シテ、而シテ現在四十年度ノ剩餘金ヲ又自儘ニ政府ハ之ヲ使フコト云フ計畫ニ相違ナシト私共ハ信シテ居ルノデアアル、剩餘金ノ如キハ常ニ政府ニ自儘ニ使ハセルト云フ途ヲ禁ズル上ニ於テモ、此増稅ヲ爲サズシテ剩餘金ヲ以テ此足ラザルトコロノ約五百萬圓ヲ支出シテ尙餘地アリ、然ルガ上ニ尙河川改良費ノ如キハ復活シテモ當然デアラウト、吾々共ハ信ズルノデアアル、贊成論者ノ中ニハ帝國地位ノ發展セルガタメニ帝國地位ノ發展セルガタメニ云フガ、増稅デナケレバ帝國地位ノ發展ガ出來ナイト云フガ如キハ何テ杜撰ナ考デアアル、既ニ非常特別稅ヲ以テアレシタカラ増稅ガ要ルト云フガ如キハ何テ杜撰ナ考デアアル、既ニ非常特別稅ヲ以テアレシタカラ稅源ヲ此現内閣ニ繼續シテ與ヘテ居タルカニハ、其手腕宜キヲ得レバ決シテ此帝國ノ地位ヲ發展スルニ於テ何等差支アルベキ道理ハナイノデアアル、又既定ノ事業ヲ遂行シ、將來ノ計畫ヲ遂行シ得ルノ能力ナクシテ、既ニ繰延ベラ置キナガラ、又ニ言ハレマスガ、既定ノ事業ヲ遂行シ得ルノ能力ナクシテ、既ニ繰延ベラ置キナガラ、又不足ニナツタ、増稅ト云フコトニナリマス、又其次ニ不足シタラ又増稅ト云フコトハ決シテ確平ナル即チ遂行ノ能力ノナイモノデアアル、増稅ヲ以テ遂行セシムルナドトハ抑、是ハ間違ッタク考ノ荒謬タル說ト云フヨリ外ハナイ、(君ガ間違ッテ居ル)ト呼フ者アリ)歲出入ノ均衡ヲ保チ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスル是ハ結構デアリマス、増稅ヲ爲サズトモツレ位ノコトハ出來ルノデアリマス、歲出入ノ均衡ヲ保チ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルガ如キハ御論ニナラナイ、是ハ當然ナコトデアアルと思フ、先ツ贊成論者ノ委員會ナド言ハレハ剩餘金デ支出シテ往タコトガ出來ルガ、將來ノ計畫ハ如何ニスルト云フ議論ガ起ルノデゴザイマス、既ニ政府ガ自ラ立テタ計畫ヲ自ラ破ツテ之ヲ繰越シテ往カウト云フ、ツレマデノ御決心ニナツタナラバ既定ノ計畫ノ中ニ繰越スベキハ之ヲ五年ノモハ六十年トシ、七年トシ八年トスルガ如キ、緩急宜シキヲ得テ計畫ヲ改メマシタナラバ、優ニ將來ノ歲計ハ立ツモノト私共ハ信ズルノデアアル、此點ニ於テ政府委員ノ言ハレタルハ最早繰延得ラレル程度マデ繰延ベテ、是カラ先ニ繰延ハ出來ナイ、斯様ナコトハ政府委員ハ何時デモ言フノデアアル、前年ノ計畫ヲ立テタコトニ於テ、是ダケノ計畫ハ何デモヤラナケレバナラヌ、是ハ急ナモノデ打棄テラコトガ出來ナイト云フハレテ置キナガラ、一年過ギレバ直グ繰延ベル、斯様ニ既ニ自ラ立テ、自ラ繰延ベルカラニハ、此繰延方法ハ緩急宜シキヲ得テ繰延ベレバ、日本ノ歲計ハ決シテ此増稅ヲセズトモヤリ得ルモノト思ヒマス、(「無責任」ト呼フ者アリ)今日豫算委員會ノ速記録ヲ見マス、隨分各方面ノ御議論トシテ、今日ハ平和ノ時機デアアル、日英同盟ノ外ニ日佛條約ハ出來、日露條約ハ出來、斯様ナ時機ニ當リテ陸軍ノ事業ナド繰延ヲ斷行スルコトハナセ出來ナイカト云フヤウナ御論モ隨分アツタヤウデアアルガ、御尤ナ御論ト思フノデアアル、然ルニ政府ガ之ニ答辯スルコトハ少シモ要領ヲ得テ居ル答辯ハナイノデアアル、唯ドウモ是ダケ繰延ベタ外ハ繰延ベヤウガナイト云フガ

如キ說明ニ止ツテ、誠ニ人ヲシテ威服セシムルマデノ御說明ハ一ツモナイ、然ラバ此繰延方法ハ一年一年ヲ引延バサガ如キハ、内外ノ情勢少シモ差支ナイト信ズル、吾々共ハ決シテ國防ニ對シテ忍ビシヤウト云フ考ノアルモノデアアル、國防ノ必要ナルコトハ吾々共ハ常ニ主張シ、吾々同志ハ常ニ之ヲ宣言シテ居ル者デアアル、國防ハ必要ナルコトシテモ時期ニアツデモ尙軍備ノ充實ヲ圖シテ、而シテ非常ノ變ニ應ズル謀ヲナシ、若クハ平和ノ時期ニ方デ非常ノ軍備ヲ完成シテ而シテ外交ノ利器ニ用ユト云フガ如キハ、隨分世界各國アル實例デアアルケレドモ、抑日本ノ外交ハドウデアアル、二十師團六十萬噸ノ海軍ヲ控ヘテ居リナガラ、尙戰勝ノ勢ニ乘ジナガラ、近來我政府ノ外交ニハアツタコトコトコトガ出來ナイ、無能ナ外交ト私共ハ信ズル者デアアル、平和ノ時期ニ於テ既ニ必要ナルコトガ出來ナイ、無能ナ外交ト私共ハ信ズル者デアアル、平和ノ時期ニ於テ既ニ必要ナルコトガ出來ナイ、今日四圍ノ情勢ニ鑑ミテ決シテ國防ヲ忽ニセヨト云フハ、ケレドモ當局者ガ繁寬其宜シキヲ得テ財政ヲ料理セバ増稅ヲササズトモ優ニ往ケルト云フコトハ、何人モ強テ政府ニ安ズルモノニアラザル上ハ、此財政計畫ノ上ニ於テ何人モ増稅ヲセズト、ヤリ得ルト云フコトハ斷言ハ出來ルノデアアル、又贊成論者ハ財政經濟ガ不安固ノタメニ、増稅案ニ贊成スル、増稅ヲ爲シテ財政經濟ノ不安固ヲ圖ルト云フノガ、果シテ當然デゴザイマセウカ、増稅ヲ爲セバ、財政經濟ノ不安固ニ陥ルト云フ論者モ又無キニシモアラズ、本員等ハ左様ニ考ヘテ居ルモノデゴザイマス、歲計ハ不完全ナレドモ内外ノ形勢已ムラ得ズ、大岡君ハ昨日歲計ハ不完全デアラケレドモ、内外ノ形勢已ムラ得ズ、増稅ニ贊成スル、益、斯様ナ無能ナ内閣ニ金ヲ預ケマスレバ、益、財政ハ不完全ニ陥ルト云フコトハ御茲ニ申述ベタコトハ委員會ニ於テ本員等ノ増稅反對ヲ宜イデセウト呼フ者アリ)尙茲ニ申述ベタコトハ委員會ニ於テ本員等ノ増稅反對ヲ說ニ對シテ大藏大臣ガ述べラレタ言ガゴザイマス、大藏大臣松田君ハ長ラ司法大臣ヲ御勤メニナツタ故ニ、餘程三百的口調ヲ御稽古ナサタモト見エマスガ、殆ド大藏大臣ノ述べタ說ハ言葉尻ヲ押ヘル、即チ三百的口調デアアル、其口調ヲ取ツテ之ヲ論ジテ見マシタナラバ、殆ドウモ財政計畫ヲ少シモ御存ジナイト云フヨリ外ハナイ、斯様ナコトヲ申シテ居リマス、本員等ノ生産力發展ノ方法ヲ現内閣ハ講ゼズシテ、徒ラニ増稅ヲ請求スルト云フ論ニ對シテ是カラ生産力ノ發展ヲ圖ルノデアアル、何タルコトダ、是カラ生産力ノ發展ヲ圖ルノデアアルト云フ、今迄ノ成程財政計畫ノ上ニ於テ生産力ノ發展ニ對シテ計畫シタ所ハ一ツモゴザイマセウ、是カラト云フコトモ宜シウゴザイマセウ、併ナガラ果シテ是カラ生産力ノ發展ヲ爲シ得ラレマスカ、次官タルトコロノ水町政府委員ハ斯様ニ申シテ居リマス、本年ハ増稅ノ必要ハ左様ニ感ジナイケレドモ、併ナカラ四十二年ノ財政ノ缺陷ハ、一億一千萬圓、四十二年度ハ尙一億圓アル、四十二年ニ於テモ八千餘萬圓アル、四十四年ニ於テモ八千餘萬圓、四十五年ニ於テモ六千餘萬圓、四十六年度ニ於テモ五千餘萬圓アル、ツレカラ先ハ分ラヌガ、凡ツ斯様ナ計算ニナリマス、既ニ財政ノ缺陷ハ是ダケアルガ故ニ増稅ガ必要ダト次官ハ述べテ居ル、而シテ大藏大臣ハ増稅ヲシテコレデ是カラ生産力ノ發展ニ此金ハ使フノデアアルト云フ說明ハ何タル矛盾ヲシテ居ル、ツレハ却テ次官ノ御說明ノ方ガ信ズベキモノデアアル、大藏大臣ハ時ニ取テノ三百口調、申譯、言葉尻ヲ答メタト云フニ過ギヌト私ハ信ジテ居リマス、又大藏大臣ハ斯様ニ申サレマシタ、吾々共ハ現在ニ於テスラ國民ハ稅ノ負擔ニ苦シテ居ルノデアアル、然ルニ政府ハ一朝事有ルトキニ國民ノ愛國心ニ訴ヘルト云フコトヲ豫算委員會ニ大藏大臣ニ述べテ置イタガ故ニ、政府ハ常ニ左様ナ頭ヲ以テ居ラレルガ、國民ト云フモノハ戰爭ガアレバ即チ愛國心舉國一致ト云フノデ、滿洲ノ野、何レノ野ニ往テモ生命ハ捨テ、平和ノトキニアツデハ御前方ハ即チ稅ヲ出スベキモノデアアル、即チ舉國一致稅ヲ納ムル動物ト心得居

〔大岡育造君登壇〕
〔今度ハ藥ニナルヤウニ饒舌ルガ良イ毒ニナラヌヤウニト呼フ者アリ〕
○大岡育造君 唯今進歩黨ノ名士大津淳一郎君ノ御演說ヲ拜聽シマシタガ、本員
ノ此處ニ登壇スルコトガ餘程御氣ニナタマヘト見エテ、屢々御呼出ヲ蒙リタコトハ、私ノ
名譽トスルトコロデアリマス、而シテ成ルベク此御演說ニ對シテ攻擧ラ寬ウシテ、而シテ私
ハ自分ノ言フコトヲ多ク言ヒタイト思フノデアリマス、本員ハ唯今議題トナッテ居リマス
ルトコロノ酒造稅外ニ件ニ對シテ、贊成ノ意見ヲ表明致スモノデアリマス、此増稅案
ヲ吾々が贊成ヲ致シマスルニハ、寔ニ已ムヲ得ザル國家ノ今日ノ經濟狀態ヲ出來ベク
之ヲ救済センガタメニスルノデアリマシテ、徒ラニスル苦痛ヲ忍ブノデハナイノデアリマス、
唯今ノ經濟狀態ハ遺憾ナガラ甚ダ健全デナイト私ハ信ジマス、恐クハ諸君モ御同感デ
アラウト思フ（「ノウク」「ヒヤク」ト呼フ者アリ）果シテ然ラバ、之ヲ救済スルノ
途ハ請セナケレバナラスノデアリマス、之ヲ救済スルニ事業ノ繰延ヲ以テ出來ルト云フ御
說ト、又本年度ハ少ナクモ、此儘ニ渡ラレルト云フ御說ト、是ガ即チ此反對論デア
ルト私ハ聞イテ居リマス、此反對ヲスル中ニ繰延ガ出來ルト云フ理由ニ、現在ノ軍備ハ
過大デアル故ニ、之ヲ繰延ベテ以テ此生産的ノ方角ニ工夫スルガ宜シイト云フノガ、
委員會デモ屢々聞エタ論デアリマス、是モ亦一理ナルコトダト思ヒマス、併ナガラ軍備ノ
性質トシテ勢ヒ現在ノ狀況ヨリハ過大ナルモノデアアル、イツデモ將來ニ對スル進歩ノ計畫
ナルモノハ、現狀ヨリハ進ンデ居ルモノデアアル、然ラバ唯今ヨリ觀テ、少シク進ンデ居ルト
云フガタメニ此繰延ヲ盛ニシテ、殆ド事實ニ於ケル軍備縮小ヲ行フト云フコトハ、
元來此進歩的計畫ニ伴ハナイ議論ニナルノデアリマス、試ニ一例ヲ舉ゲテ見マスレバ、
始メテ教育制度ヲ布キマシタトキニハ、國民ノ多數ハ此民度ニハ適シナイ、過ギタリト
言フテ居ッタノデアリマスルガ、今日ニ及ンデ始メテ其效果ヲ收メ得タノデ、法典ノ發布
ノ場合デモ此通デアッタノデアリマス、常ニ現狀ヨリハ幾分ノ進歩ヲシタルモノヲ採用ス
ルニアラザレバ國家ノ將來ノタメニ有用デナイノデアリマス、之ヲ強テ現在ノ狀況ガ許ス
アル、即チ我鐵道計畫ノ如キハ是デアアルノデアアル、諸君ノ多數ハ常ニ現在ノ鐵道ニ
向テ不平ヲ竝ベラレ、不便ヲ竝ベラレタ、否ナ、國民ノ多數ハ之ニ不便ヲ言フ、是ハ
抑ヘ何デアアルカト言ヘバ、當利ニ於ケル計畫ガ甚ダ姑息デアッタノデアアル、狹軌鐵道デ今
日ノ進歩シタル時代ノ運輸ニ應ズベキモノデヤナイガ、初メノ計畫ノ時分ニ僅ニ當時ノ
財政及其狀況ガ許ス限リ位ニシタカラ、斯ウ云フコトガ出來ルノデアアル、若シ軍事ノ計
畫ノ如キヲ斯樣ナル姑息ナコトヲ致シタナラバ、國家ノ有事ニ於テ大ニ後悔シナケレバ
ナラスコトニナル、（拍手スル者アリ）今ノ院外ニ於テ盛ニ高クナル聲、即チ實業家ト
云フ人々ノ聲ノ如キモ、茲ニ餘程アルヤウデアリマスガ、是ハ實ニ能ク考ヘテ貰ハナケレバ
ナラスノデアアル、現狀ニ適當シタルダケノ軍備計畫ヲスルノガ、國家ノ利益デアリスレ
バ、明治二十四五年ノ本議會ノ議論ガアレデアアル、アノ議論ヲ政府ガ聞イテ而シテ軍備
ヲ縮小致シマシタナラバ、果シテ二十七八年役ニアノ效果ヲ收メ得タデアリマセウカ、又日
清戰爭ノ軍備擴張ニ對シテモ、盛ニ反對ノ聲ガ起リマシタガ、之ニ聞イテ政府ガ軍備ヲ
縮小致シマシタナラバ、果シテ日露戰役ノ效果ヲ收メ得ラレタデゴザイマセウカ、（拍
手スル者アリ）歴史ハ正ニ此ノ如ク吾々ニ證明シテ居ル、將來ニ互ル進歩計畫ナルモノハ、
少シクモ現狀ヨリハ多ク進ンデ居ラナケレバナラスコトヲ吾々ハ認メナケレバナラスノデア
アル、少シクモ此程度ニ進ンデ居ルト云フ理由ヲ以テ、此繰延ヲ主張セラレルト云フコトハ、
私ノ贊成セザルトコロ、又諸君ノ大ニ慎重マレベキコトデアアルト、私ハ思ヒマス、唯今ハ日
露——デハナイ、日英同盟、日露協商、日佛協商等ガアッテ、誠ニ平和ノ時代デア
ルカ

ラ、軍備ハサハ急イデスル必要ハナイト言ハレル。御方が段々聞エル、誠ニ是等ノ同盟及協約ニ依ツテ、平和ヲ今日及將來ニ望ミ得ルコトハ慶事デアリマス、幸デアリマス、併ナガラ此日英同盟ノ再訂ニ依ツテ、吾々が常ニ守ラナケレバナラストコロノ責任ヲ有スル範圍ハ餘程廣クナツタデアル、是ハ私が細論スルヲ要セヌ、諸君ノ能ク御承知ノコトデアル、又朝鮮ヲ再度ノ新協約ニ依ツテ保護權ヲ確實ニ致シマシタ以上ニハ、元來ノ領土モ安全ニ又守ラナケレバナラヌカ、此點ニ於テ吾々が義務ガ殖エテ居ルノデアル、陸軍ノ側カラ見テモ此通り、海軍ノ事デモ其通りデアラウト思フ、吾々が東洋ト云ハレル、昔ハ支那海或ハ日本海位ノ分量ヲ以テ見ラレタカモ知レヌガ、今日ハ太平洋ノ全面ニ向ツテ視線ヲ張ラナケレバナラヌ時代ニ成ツタデアル、(然リノ「ト」呼フ者アリ)天津君ノ如キ唯今何モ心配スル狀況ハ無イ、無論唯今ハ何モ心配スル狀況ハアリマセヌ、併ナガラ唯今何等ノ變態ガ無イカラト云ウテモ、國家ノ生存上ニハ十年ニ一度ハ不幸ニシテ吾々が事變ヲ見ルコトガ有ツタデアル、既ニ二度マデ――必ズ二度無シト保證スルコトハ出來ナイ、又ナイ時ニ互ニ軍備ヲ擴張シテ置イテ、是ニ依ツテ變方ガ平和ヲ保ツト云フノガ今日ノ世界ノ政策デアル、サレバ鄰國ニ於テ相當ノ兵備ヲスルナラバ、我ニ於テモ是ニ當ルダケノ兵備ヲシテ初メテ兩國ノ平和ガ完イ、今太平洋ノ面ニ於テハ御承知ノ通り現ニ亞米利加デハ十六ノ戰艦ヲ連ネテ我此太平洋面ニ訪問スルト云フデアリマセヌカ、是ハ鄰國ノ友人ガ來ルノデアルカラ、吾々が喜ンデ彼ヲ迎ヘタイガ、我モ亦彼ト手ヲ握ルダケノ始終力ガナケレバナライ、是ガ即チ平和ヲ保ツ所以デアル、此ノ如ク私ハ現狀ヲ見マスルガ故ニ、唯今ニ於テハ何等ノ異狀ハアリマセヌ、幸ニ外交其宜シキヲ得テ居リマスルカラ、心配ハゴザイマセヌケレドモ、苟モ怠ルベカラザルモノハ、此軍備デアリマスルカラシテ、諸君ハ此邊ニ御注意ヲ願ヒマス、從來進歩黨ノ諸君ハ軍備ニ反對デアツタケレドモ、昨年カラ大分歩調ヲ改メラレ、又唯今ノ天津君ハ吾々が軍備ノ擴張ニハ贊成タト言ハレタ、誠ニ唯今此明言ヲ受取ツタコトハ、私ノ大ニ喜ブトコロデアリマス、軍備擴張ハ贊成ダガ、事業ハ繰延ベロト云ハレル、是ハ少々矛盾致シテハ居リマスマイカ、是ヨリ以上言フ毒舌ト云テ不足ヲ言ハレマスカラ、此邊アツ御考ヲ願フテ置キタイノデアル、政府ニ於テハ、斯ル大事件ヲ控ヘテ居リナガラ、財政及經濟ノ狀態ガ甚ダ穩便ヲ缺ク趣デアルカラシテ、隨分繰延ラシタノデアル、其金高ノ如キモ少ナカラヌコトデ、一億何千万圓ト云フ繰延ラシテ、當議會ガ議スルトコロノ四十一年度ニ於テモ、經常及此臨時ノ繰延額ヲ見マスルト云フト、五千万圓以上ニナツテ居リマス、此ノ如クニ繰延ベテモ尙實際ニ於テ不足ヲ此年度ノ次ニ於テ見ル、及其次ノ年度ニ於テ見ル、之ガタメニ餘儀ナク此増稅ノ計畫モ立テラレタノデアル、且今日ノ現狀ヲ此儘ニシテ措キマシタナラバ、戰後經營ノ諸君ガ最モ希望セラレ、私共ノ希望スルトコロノ國民力ノ發展ニ資スルコトガ出來ナイノデアル、唯今ノヤウナ經濟狀態ニ於テ、而シテ政府ハ諸君ノ協贊ヲ經テ居ルカラ、答メハ受ケヌト云フヤウナル間違ッタ若シ考ヲ以デシテ、此處デ公債デモ募集致シマシタナラバ、如何ナルコトニナリマセウ、決シテ是民間ノタメニハナリマセヌ、非常ナ痛苦ヲ與ヘルニ違ヒナイノデアル、政府ハ所謂帳面ヅラハ合ワダケケノ位地ニ居リナガラ、諸君ノ攻撃ヲ受クルコトヲモ忍シテ、此増稅案ヲ出シタト云フコトヲ玆ニ發揚スルノデアル、現ニ海外ノ公債デモ此計畫ノコトガ分ッテ以來騰貴シタデアアリマセヌカ、吾々が日露戰役ニ十分ナル戰捷ノ好結果ヲ收メマシタガ、之ヲ助ケタルコロノ公債ノ各外國ノ資本家ニ對シテノ注意ヲ怠ラナイケナイノデアリマス、又吾々モ自ラ多クノ公債ヲ持ツテ居ル――吾々が云ウタトコロガ我國デモ――私ハ有ツテ居ナイガ(笑聲起ル)政府及人民ガ多ク有ツテ居リマスカラ、此公債ノ價ヲ騰ゲルト云フ取略ガ利ケバ、ソレ

感ハシテ居ルモノガアル、吾々ハ議員デアッテ見レバ、相當ノ訴ヲ毎朝聴キマスガ、其訴ヲ聞クノニ酒或ハ砂糖ト云フヤウナモノニ付テ餘リ何トモ訴ヘニ來ナイ、石油ニ付テモ來ナイ、間接稅ニ付テ何等不足ヲ云フテ來ルモノハナクシテ、私ノ所ノ營業稅何ホ上ル、私共ノ所ノ所得稅何ホ上ル、今ノ政府ハ富豪征伐トカイロンコトヲ云フテ居リマス、是ハ此案ニ對シテノ不平ハ更ニ聞カズシテ、私共直接ニハ聽クトコロノモノハ、所謂此稅法整理案ノコトデアアル、此稅法整理案ト云フモノハ甚ダ政府ノ側ニ立ッテ居ル云ヒ惡イケレドモ、餘リ出カシテ手柄デハ無イト私ハ思フテ居ル、アレハ實ニ大藏省アタリノ「ハイカラ」ノ先生方ノ氣休メノ案デ、アレガタメニ、何程國家ガ利益スル程デモナケレバ人民ガ非常ニ利益スル程デモナイ、商業會議所等ガ云フコトモ私ハ耳ヲ傾ケテ聴カ、今ノ外立テテ聲ハ是等ノモノヲ混雜シテ盛ニ惡感情ヲ高メルノデアアルカラ、甚ダチガ良クナイデ、返スノモ稅制整理ニ對シテハ、或ハ諸君ト同感ヲ以テ論ズルコトモアリマセウガ此消費稅ニ對シテ此三案デハ此儘ツクリニ見テ論ジテ、而シテ多數ノ御贊成アラフコトヲ希望シマス

(拍手起ル)

○議長(杉田定一君) 早速整爾君

(早速整爾君登壇)

○早速整爾君 諸君、唯今ハ増稅論者ノ旗頭ト致シテ大岡君カライロノ御事情話ヲ承ツタゴザイマスガ、此増稅ヲシナケレバナラヌト云フ御事情話ニ付キマシテハ、私ガ是カラ論ズルトコロニ依ッテ其可否ガ正當ニ分ラアラウト考ヘテ居リマス、私ハ固ヨリ此増稅案ニ對シマシテハ絕對ニ反對スル意見ヲ有テ居ルモノデゴザイマス、第一私ハ増稅ヲ今日ノ場合ニ於テ斷行シナケレバナラヌト云フ理由ガ分ラヌ、本會並ニ委員會ニ於キマシテ、大藏大臣以下政府委員ガ増稅ノ理由ニ付テイロノ御辯明ガゴザイマシタケレドモ、唯今日ノ財政上已ムヲ得ヌトカ、或ハ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルカ云フボヤリシタ理由ノ外ハ、國民ヲシテ満足セシメ、國民ヲシテ安心セシムルニ足ルケノ理由ハ少シモ示サレテ居ラヌデアリマス、私ハ政府ガ斯様ナ論法ニ於テ増稅ヲ斷行スルト云フコトハ、今日ニ於ケル國家ノ要務ヲマルデ忘レテシマッテ居ルノデナイカト考ヘル、國家ヲ常ニ最モ養フベキモノハ國民ノ財力デアアル、此財力所謂實力ノ養成ヲ致シマセウケレバ、我國家ノ隆運ヲ保ツコトガ出來ナイノデアリマス、政府ハ此見易キ道理ヲ忘レテ、我民力ヲ枯渴セシメ國民ノ實力ヲ減却セシメント企テ、居ルト私ハ思フ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト唱ヘルデアリマスガ、財政ノ基礎ハ抑何レニ在ルカ、國民ノ財力ヲ養ヒ國民ノ實力ヲ養成シテ民間經濟社會ノ調和ヲ計ルニアラザレバ、財政ノ基礎ハ確實ナリト謂フコトハ出來ナイデハゴザイマセウカ、財政ノ基礎ハ國民ノ實力ニ在ル、此國民ノ實力ニアルカラ此國民ノ實力ヲ養フ所以ヲ忘レテ、苦痛ノ上ノ苦痛ヲ國民ニ與フルト云フコトハ、私ハ思フ、寧ロ財政ノ基礎ヲ薄弱ナラシムル所以デゴザイマシテ、決シテ財政ノ基礎ヲ鞏固ナラシムル所以デナイ我國民ハ戰時並ニ戰後ニ於キマシテ實ニ非常ナ重キ負擔ヲ擔ハセラレ、其困難其苦痛ト云フモノハ固ヨリ一通リデハナイ、今日コソハ我國費ヲ節約シテ民間ノ實力ヲ養成スベキ時期デゴザイマス、此上更ニ負擔ヲ重カラシメントスルガ如キハ、實ニ我國民ヲ殲滅スル甚シキモノデアッデ、國家ハ前途ニハ誠ニ憂フベキコトデアルト私ハ思フテ居ル、政府ハ固ヨリ之ヲ知ッテ居ル、國費ノ節減ヲ計ラナケレバナラヌト云フコトハ、總理大臣並ニ大藏大臣ノ演說ニモアル、之ヲ知ッテ居リナガラデス、尙且國民ニ向ッテ増稅ヲ強ヒ、更ニ大ナル厄難ヲ國民ニ與ヘント計ッテ居ル、此ノ如クシテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フノハ、果シテ何タルコトデゴザイマセウ、誠ニ無謀無責任ノ甚シキモノデアルト本員ハ信ズルノデアリマス、唯茲ニデズ、眞ニ已ムヲ得ザル場合ニ際シ

タモノデゴザイマスレバ、忠良ナル我國民ハ血ヲ啜ッテモ國家ノ急ニ應ズルコトハ辭シナイノデアアル、政府ノ財政計畫ノ上カラ判斷ヲ致シマスレバ、此増稅ト云フモノハ固ヨリ已ムヲ得ザルニ出デタモノデナイ、當局者ノ無定見無責任而モ自カラ國家ノ財政ヲ處理スル能力ナキガタメニ起ッタルコトヲ増稅デアアル、之ニハ國民ハ斷シテ甘シズルコトガ出來ナイノデアアル、財政計畫ノ無責任無方針ト云フコトニ付キマシテ今更申スマデモナイ、政府ガ自ラ計畫ヲ立テナガラ自カラ之ヲ變更スルト云フ今日ノ有様ニ陷ッテ居ラマスカラ、自カラ計畫ヲ立テナガラ自カラ之ヲ變更スルト云フ境遇ニ陷ッテ居ル、政府ハ何故今一步進メテ此計畫ヲ根本カラ改造スルコトヲシナイデアアル、少クモ所謂事業ノ繰延ニ付キマシテ、今少シ英斷ヲ加ヘルコトヲ敢テシタラバ、六億幾千萬圓ト云フ大ナル財政ノ内カラ二千萬圓ヲ行ハズシテ濟ムベキ方法ハ幾ラモアル、唯財政當局者ノ腕サヘゴザイマスレバ、増稅ヲ行ハズシテ濟ムベキ方法ハ幾ラモアル、然ルニ此根本ノ整理ヲ施スノ根本ノ整理ヲ行フト云フコトモ決シテ難キニアラズデアアル、然ルニ此根本ノ整理ヲ施スノ能力ナキ政府ハ此能力ノナキ政府ハ、唯一時ノヤリ繰リノタメニ姑息ノ繰延ト云フコトヲヤッテ、其財政ノ彌縫ヲ助ケルタメニ増稅ヲ國民ニ強ヒントシテ居ルノデアアル、言換ヘテ見ルト今回ノ増稅ハ財政ノ彌縫ヲ助ケルタメニ國民ヲ犧牲ニ供スルモノデアルト私ハ思フ、即チ増稅案ハ政府ノ財政ノ不始末、財政計畫ノ無責任ト云フコトヲ表白シテ居ルトコロノ一ノ病的徵候デアリマス、此増稅ハ實ニ財政ノ遺リ繰リ姑息ナル小刀細工、應援ノタメニ企テラレタルコトヲ無謀ナル計畫デアルト謂ハナケレバナラヌ、諸君、財政ノ彌縫ノタメニ犧牲ニ供セラレントスル我國民、如何ニシテ之ヲ甘受スルコトガ出來マセウカ、一時ヲ僥倖スル政治家ノタメニ濫ニ犧牲ニ供セラル、如キコトハ、我國民トシテドウシテモ甘シズルコトガ出來ナイノデアリマス、元來國民ハ租稅ヲ製造スルトコロノ器械デハナイ、然ルニ政府ハ我國民ノ柔順ナルニ乘ジテ、國民ハ租稅製造ノ器械ト同視シテ、無難作ニ國民ノ膏血ヲ榨ラント企テ、居ル、斯ノ如クナリマスレバ我國民ハ如何ニシテ其業務ニ安シズルコトガ出來マセウカ、實ニ政府ノ無謀モ亦甚シイト斷定セザルヲ得ナイ、諸君、以上ハ私ノ大體論デゴザイマスガ、私ハ茲ニ少ナクモ來年度即チ明治四十一年度ニ於テ増稅ヲ行フ理由ガナイト云フコトヲ斷言シナケレバナラヌ、(來年ハ四十二年度デ、四十二年度ト云フハ過去デ居ル、ソシテ來年度モ知ラヌヤウナヤハ役ニ立タヌト呼フ者アリ)政府ハ本年度ノ剩餘金ノ中三千三百萬圓デハ之ヲ明治四十二年度ニ繰越スト云フコトヲ表言シテ居ル、此事ハ明ニ會計法ノ明文ニ背反シテ居ル、剩餘金ハ之ヲ翌年度ノ歳入ニ繰入スベシト云フノガ、會計法ノ明文デゴザイマスガ、此會計法ニ違反シテマデモ三千三百萬圓ノ剩餘金ハ明治四十二年度ニ繰越ス而モ……

○議長(杉田定一君) 萬壽君、靜ニ願ヒマス

○早速整爾君 四十二年度ニ於キマシテ、僅ニ五百萬圓ノ歳入不足ノタメニ増稅ヲ行フト云フコトハ、果シテ何ガ故デアアル、政府ハ此事ニ關シマシテハ、増稅ノ計畫ハ數年ニ亘ルコトコロノ計畫デアラカ前ノ年度カラシテ之ヲ用意シテ置カナケレバナラヌト云フコトヲ辯ジテ居ル、是ハ一應私ハ尤デアルト信ズルノデアリマスケレドモ、抑増稅ト云フコトハ國家ノ重大問題デアアル、決シテ之ヲ輕忽ニ行フコトハ出來ナイ、政府ノ辯ズルトコロハデス、唯ハ政府ノ事情デアアル、政府ノ御都合向キデアアル、ドウモ前ノ年カラヤッテ置カナケレバ都合ガ惡イカラ、剩餘金ハアレケレドモ會計法ニ背イテマデモ其剩餘金ハ先ハ繰延ベテ置イテ、其御都合ノタメニ免ニ角前ノ年度カラ増稅ヲ行ハウト云フコトヲシテ居ル、是ハ即チ法律上ニ於キマシテモ、私ハ大ナル疑問トシテ殘サナケレバナラヌト思フ(疑問デヤナイト呼フ者アリ)條理ノ上カラ見レバドウシテモ許スコトガ出來ナイ、現在剩餘

金ヲ有シテ居ナカラ、法律上之ヲ來年度ノ豫算ニ編入シナケレバナラナイニ拘ハラズ空シク之ヲ次ノ年度マデカクマデ置イテ、而モ尙此場合ニ於テ増稅ヲ行ハントスルト云フコトハ、確ニ常識ノ上カラ判斷ヲ致シマシテモ、會計法上ノ條規ニ背イテ居ルコトハ明デアル、少ナクトモ此國家ノ大問題タル増稅ヲ行ハントスルニ當テハ、斯様ナル不法ナリトノ疑アル舉動ニ出ルト云フコトハ、立憲の内閣ト云フ其内閣ノ舉動トシテハ、我輩大ニ之ヲ疑ハザルヲ得ナイノデアル、斯様ナル次第、實際ニ於テ明治四十一年度ニ於テ増稅ヲ行フ必要ガナキニ拘ハラズ、唯政府ノ事情ノタメニ之ヲ行フト云フコトハ、非立憲的ノ甚シキモノデゴザイマスカラシテ、國民トシテハ此點ニ付テモ斷ジテ政府ノ増稅理由ノ首肯スルコトガ出來ナイノデアリマス、諸君斯ノ如ク致シマシテ政府ノ此無謀ノ増稅ヲ行ハント企テ、居ルノデゴザイマスガ、此無謀ノ政策ガ果シテ能ク其目的ヲ達スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテモ、吾々大ニ之ヲ論難シナケレバナラヌ、政府ハ此増稅計畫ニ付キマシテ、果シテ能ク收入増加目的ヲ達スルヤ否ヤ、酒ニ致セ、砂糖ニ致セ、從來此課稅ノ實驗ニ徴シテ見マシテモ、増稅ノ度毎ニハ消費ノ高ヲ減ジテ、其消費高ヲ減ジテ居ルコトハ明カデゴザイマス、而モ今日ニ於キマシテハ、是等ニ對スル負擔ト云フモノハ實ニ極點ニ達シテ居ルノデアル、酒モ砂糖モ何レモ負擔ト云フモノハ極點ニ達シテ居ルノデゴザイマスカラ、此上更ニ増稅ヲ行フト云フコトヲ致シマスレバ、是等ノ品物ニ對スル消費高ト云フモノハ益、減却スルデアラウト云フコトハ、モウ明カニ分ル、爲ニ政府ガ果シテ此増稅ノ目的ヲ達シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、吾々今日ニ於ケル疑問トスルトコロデハゴザイマセヌカ、彼ノ大藏省ノ稅法審査委員會ガ酒ニ付キマシテ、酒造稅ヲ増加シ度毎ニ、消費高ガ減シ來ヅト云フ統計ヲ根據シテ、今日以後更ニ増稅スルノ餘地ガナイト云フコトヲ決定ヲシテ、増稅ノ目的ヲ達スルコト能ハザルヤ必セリトマデ斷言ヲシテ、酒造稅ヲ増徴スルト云フコトハ惡イト云フコトヲ審査委員會デ極メマシタノハ、流石ニ感心デアル、誠ニ大藏省ノ當局者ハ卓見ノ明ガアタト私ハ思フ、(「確ニ進歩シテ居ル」ト呼フ者アリ) 誠ニ其通デアル(「登壇シテ妨ケ給ヘ」登壇シナクトモ宜イ)ト呼フ者アリ) 此上酒ニ増稅ヲ致シマスレバ、愈益、消費高ヲ減ジテ増稅ノ目的ヲ達スルト云フコトハ出來ナイノデアル、然ルニ斯様ニ卓見ナル大藏省ノ當局者モ、或事情ノタメニハ忽チ其意見ヲ變更ヲシテ、彼モ一時是モ一時ト云フヤウ、今デハ又増稅ノ目的ガ達セラル、デアラウト云フコトヲ極言シテ居ル、一年前ニハ酒ニ稅ヲ増ス場合ニハ、増稅ノ目的ハ達セラレヌト斷言ヲシテ置キナガラ、御都合上カラ今日ニ至ッデハ増稅ヲシテモ目的ハ達セラレヌト斷言ヲシテ置キナガラ、是モ誠ニ無責任ナル話デゴザイマスガ、ソレハ免ニ角前ニ於テ決定ヲ致シタル審査委員會ノ意見ト云フモノハ誠ニ正當デアルト私ハ信ズルノデゴザイマス、即チ我輩ハ此審査委員會ノ意見ノ通りニ政府ハ能ク増稅ノ目的ヲ達スルコト能ハヌデアラウト云フコトヲ斷信スルモノデアリマス、然ラバ政府ハ如何ニシテ前途ニ對セントスルノデアルカ、如何ニシテ此目的ヲ達セントスルノデアルカ、増稅ノ計畫ヲナシテ其增收ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フ疑ガアル品物ニ向テ増稅ヲ行フ、誠ニ危險千萬收入ノ見込ガ確實ナリヤ否ヤト云フ疑ノアル品物ニ向テ稅ヲ課スル寧ろ滑稽ヲスル、斯ノ如ク危險ナル増稅計畫ニ向ッテ諸君ハ果シテ能ク甘シテ之ニ賛成ヲスルコトガ出來マスカ、我輩ハ唯此點ニ付キマシテモ、斯ル危險ナル増稅計畫ニ向ッデハ、斷テ居ルト云フコトヲ一言シタイ、政府ハ此増稅ガ何レモ間接稅デアルカラシテ、誠ニ良キキ稅源デアルト斯様ニ辯シテ居ルノデアル、何故ニ是ガ良キ稅源デアル、酒ニ致セ、砂糖ニ致セ、石油ニ致セ、之ニ向ッテ消費稅ヲ課スル場合ニハ實ニ此全國ノ國民ヲ苦メルコト

ハ甚シイ、又大ニ此事業社會ニ向テ打撃ヲ加ヘルト云フコトニナルノデアル、何レモ人生ノ必要品デアル、殊ニ砂糖ノ如キハ鹽ト同様ニ人類ノ生活ニ必要缺クベカラザルモノデゴザイマス、酒ノ如キニ致シマシテモ、亦或意味ニ於テハ同ジ物デアル(「ノウ」)ト呼ブ者アリ)況ヤ石油ニ至リマシテハ、細民ニ取テ特ニ缺クベカラザル品物デアル、斯様ナル人間ノ生活上必要ナル品物ニ對シテ重キ稅ヲ課スルト云フコトハ固ヨリ明白ノ苦痛ト云フモノハ益々甚シキヲ致シテ、其生計ノ上ニ困難ヲ加フベキコトハ固ヨリ明白デアル、今や物價ハ益々騰貴致シテ、國民ガ其生計ニ苦シミツ、アルニ當テ、更ニ斯様ナル生計上必要ナル品物ニ對シテ重稅ヲ課スルト云フコトニナリマスレバ、日用品ノ物價ト云フモノハ、益々騰貴シテ、國民ノ困難ト云フモノハ實ニ極度ニ達スルデアラウ、ソレト同時ニ勞働賃銀ノ騰貴等ノタメニ、一般ノ事業社會ニ向テ大ナル打撃ヲ加ヘ、産業ニ對シテ非常ナル妨害ヲ來スト云フコトハ、消費稅ノ性質トシテ明カニ分ッテ居ル、民間ノ經濟社會ノ不況ハ私ガ申スマデモナク、今日ハ實ニ甚シキニ陷ッテ居ルノデアリマスガ、此上尙且此産業ノ妨害ニナル、經濟社會ノ妨ニナルコロノ斯ノ如キ消費稅ヲ課スルト云フコトハ、實ニ事業社會ニ對シテ大打撃、突然我經濟社會ハ爆烈彈ヲ投ゼラレタト同ジ結果ヲ生ズルノデアル(「ノウ」)「ヒヤ」(「ト呼フ者アリ」)ソレコソ我實業社會ノ一大不幸ヲ招クモノデゴザイマスガ、政府ハ此經濟社會、民間實業社會ノ不幸ニ陷ルト云フコトヲモ顧ミズシテ、消費稅ハ良キ稅源デアル、間接稅ナルガ故ニ良キ稅源デアルガ如キノ理由ヲ述ベ、我國民ノ困難ヲ顧ミナイト云フコトハ、是ガ果シテ大岡君ノ所謂國家ニ對スル忠實ナルモノ、致ストコロデゴザイマセウカ、私ハ今回ノ增稅計畫ニ付テハ、政府ハ實ニ此國民ノ困難、國民ノ苦痛ヲ顧ミザル誠ニ不親切ナル政府ノ處置ト斷言ヲセザルヲ得ナイノデアル、況ヤ砂糖稅ノ如キハ内地ノ糖業者ニ對シテ非常ナル打撃ヲ與ヘ、此事業ヲ壓倒スルノ結果トモナルデアラウ、石油稅ノ如キモ寧ロ輸入ヲ獎勵スルノ結果ト相成テ、直接ニ是等ノ事業ノ基礎ヲ破壞スルノ結果ヲ來スコトハ明カデアル、則チ斯ノ如キ消費稅ハ國民一般ニ向テ苦痛ヲ與フルト同時ニ、其事業其物ニ向テ非常ナル打撃ヲ與ヘ、其事業ノ基礎ヲ破壞スルト云フ結果ニ陷ルデアラウト私ハ思フ、斯ル惡稅——私ハ此消費稅ヲ以テ、今日ノ經濟社會ニ於キマシテハ惡稅中ノ惡稅ト思フ、此惡稅中ノ惡稅ニ對シテ政府ハ良キ財源デアルト云フコトヲ稱シ、國民ノ苦痛ヲ顧ミズシテ重キ負擔ヲ荷ハシメントスルト云フコトハ、誠ニ國家ノ前途ニ對シテ憂フベキコトデアルト信ジマスルカラ、此增稅案ノ全體ニ對シテ反對ヲスルモノデゴザイマスル、政府ガ若シ果シテ國家ノ要務ヲ忘レズシテ國民ニ對シテ親切デゴザイマシタナラバ、此增稅ヲ行フノ必要モナク、國民ニ對シテ困難ヲ重ネシメル必要モナク、國民ヲ満足セシメル、國民ヲ安心セシメル、而シテ國民ノ實力ヲ發達セシメテ將來國家ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云フコトハ、無論其目的ヲ達スルコトガ出來ルノデアルニモ拘ハラズ、早キニ及ンデ增稅ノ必要ナキ今日ニ當テ、徒ラニ無謀ノ增稅ヲ斷行セントスルト云フコトハ、誠ニ政府ノタメニ惜マザルヲ得ナイ、立意の内閣ト云フモノハ果シテ斯ノ如キモノデアルカト云フコトヲ、私ハ疑フデ此壇ヲ降ルノデアリマス

要スルニ増税ト云フモノヲ...

○議長(杉田定一君) 發言ヲ許シマセヌ、藻寄君——藻寄君

(登壇シ給ヘ)ト呼フ者アリ

○三井忠藏君 諸君、私ハ此問題ニ付キマシテハ酒造稅砂精稅ハ贊成ヲ致シマスル、而シテ石油稅ハ反對ヲ致シマスル、是ヨリ其理由ヲ述ベマスルニ付キマシテ、反對者ノ議論ヲ藉リマシテ、其非ナルコトヲ述ベテ、私ノ理由ト致シマスル(二百尺竿頭一歩ヲ進メテ總テ贊成セシト)ト呼フ者アリ)反對者ノ理由ト致シマスルコトヲ要ラ概括致シマスレバ、大凡私ガ今述ベントスルコトコロ五ニ過ギナイ譯デアル、其一ツハ四十年度ノ歲入不足ハ僅々四百九十九萬圓デアル、其上一四十二年度ニ繰延ベ得ベキトシテ、金額ガ三千三百萬圓アル、此中ヨリ四百九十九萬圓ヲ補填スルモ、別段ニ増稅ヲスル必要ガ無シト云フコトガ第一ナル、第二ハ政府ガ一億萬圓ノ事業繰延ヲ爲シ得ベケンバ、尙進シテ年々一千万圓乃至一千五百萬圓ノ繰延ノ出來ナイコトハナシト云フコトデアル、第三ハ増稅ハ已マシ得ナイトスルモ、消費稅ハ國民ニ苦痛ヲ與フルコト大ナルガ故ニ不可ト云フコトデアル、第四ハ經濟界不振ノ今日ニ於テ増稅ハ經濟界前途ノ混亂ヲ醸スモノデアデ、將來ノ國家ヲ奈何セント云フコトデアル、第五ハ増稅ハ絕對ニ反對ニアラザレドモ、不信任ナル政府ノ提出シタル増稅案ニ反對スルコト云フ、此五ツニ過ギナイコト、考ヘマス、第一ノ四十一年度不足四百九十九萬圓ハ當年ヨリ増稅ヲシナクテモ、是ガ補填ノ途ハ優ニ三千三百萬圓ノ内ヲ以テ出來ル、故ニ當年増稅ヲシテ將來ヲ待ツニ及バスト云フコトハ、甚ダ當ヲ得ナイと思フ、何ヤ此四十一年度ノ財政計畫ガ四十一年度限リテ締切ラル、モノナラバ、是ニ贊成致シマスカナレドモ、此四十一年度以降ハ數年ノ後ノ繼續事業トナテ居リマシテ、毎年一億三千萬圓以上ノ負擔ヲシナケレバナラズ、今日ノ繼續事業ノ狀態トナテ居リマス、今年サヘ此四百九十九萬圓ノ補填ガ出來レバ、増稅ハ不可ト云フコトハ甚ダ近眼モ亦甚シキ近眼者流ノ說ト思フ、之ニ反對スル論者ハ現今ノ政府ハ苟且彌縫ヲ事トスル意見ヲ提出セラル、ノハ、抑、何デアルカ、本員ノ贊成スルコトノ出來ナイ第一ノ理由デゴザイマス、第二ハ一億萬圓ノ繰延ヲ得ベケンバ、尙年々二千萬圓以上ノ繰延ノ出來ナイト云フコトハナシト云フコトデアル、是ニ對シマシテ此増稅ヲシナクテモ、増稅メケノ金額ハ陸軍ニ於テ是ノ事業ヲ中止シテ繰延ガ出來ル、海軍ニ於テ是等ミノ物ガ出來ル、農商務省逓信省尙然リ、此ノ如ク具體的計畫ノ案ヲ具ヘテ反對セラル、モノナレバ、私モ贊成致シマスカナレドモ、唯壹億萬圓ノ繰延ガ出來ルモノナレバ、増稅ヲシナイデモ繰延ガ出來ルト云フガ如キ、漠トシタコロコ此意見ハ私ガ贊成スルコトガ出來ナイ一ツデゴザイマス、第三ニ消費稅ハ増稅ハ假リニ已ムベカラズトスルモ、消費稅ハ國民ノ苦痛ヲ増スト云フ意見デアル、増稅ヲ已ムベカラズトシテ消費稅ハ苦痛ヲ増スカラ不可トスレバ、直接稅ニ依ラナケレバナラズ、若シ論者ノ如ク直接稅ニ依ルテ致シマシタラバ、此上土地租、營業稅、所得稅ノ如キ物ニ増稅ヲスル餘地ガアルノデゴザイマス、是コソ國民ニ大ナル苦痛ヲ増シマスモノデアデ、眞ニ反對論者ガ國民ノ苦痛ヲ厭ワテ消費稅ニ依ルノ外ハナイノデアリマス、因テ私ハ贊成スルコトガ出來ナイ、第二ノ理由デゴザイマス、第四ハ經濟界ノ不振ノ今日ニ於テ増稅ヲナスコトハ將來ノ經濟界ヲ如何スルト云フコトデアル、如何ニモ今日ハ經濟界不振デアル、此不振ノ原因ハ經濟狀態ノ常トシテ甚シク複雜ヲシテ居リマスカナレドモ、此重ナル物ハ米國ノ經濟界ノ恐慌、銀貨ノ下落、日本財政ノ前途ノ不安心、此三ツニ過ギナイモノト思ハレル、併シ米國經濟界ノ恐慌、銀貨ノ下落、日本財政ノ不振ハ他働的ニシテ吾々日本人ハ如何トモスベカラザルコトデ、事業家ガ今日事業ヲ縮小

シ、又新事業ヲ起サレナイト云フモノハ、此繼續事業ヲ抱ヘテ居リマスル今日ノ日本ノ財政ガ、四十二年度以降年々一億三千萬圓以上ヲ繼續事業ニ仕拂フナサナケレバナラヌ、此補填ハ政府ハ如何ナル財源ヲ以テナスカト云フコトガ、即チ疑點ノ大ナルモノデアアル、是ニ於テ資本ヲ入レ工業ヲ起シ商業ヲナスモ、此財政ノ將來、即チ四十二年度以降一億三千萬圓バカリノ補填ノ途ガ附カナイカラシテ事業ニ手ヲ出サナイ、現ニ出シテ居リマスモノハ、縮小スルコト云フ譯合ニナテ居ル、是ガ即チ經濟界恐慌ノ一原素デアリ、然ラバ少ナクモ此內國事業家ノ安心ヲスルマデノコトニ於テハ、吾々爲政者ガ大ニ注意ヲシナケレバナラヌ(笑聲起ル)是ガ即チ四十二年度ヨリ一億三千萬圓ノ財源ハ、前私ガ申上ゲタ如ク何ヲ以テ財源ニ充テルト云フコトガアリマス、事業繰延ガ出來マスカ、何ヲ以テ此事業繰延スルコト云フコトヲ具體的ニ明細ニ舉ゲタ論者ハ一人モナイ、唯出來サウナモノ此位ノ事業繰延論ハ到底此財源ノ救済ハ出來マセヌ、然ラバ此年々一億三千萬圓以上ノ補填ニ充テルニハ甚ダ吾々モ忍ブヲ得ベカラザルコトデゴザイマスカナレドモ、増稅ニ依ルノ外ハ致方ハゴザイマセヌ、ソレハ經濟界ノ前途如何ト云フデ、眼前金ヲ出サナケレバ、此經濟界ノ救済ガ出來ヌ如ク、小供ヤ女ガ財政ヲ論ズルガ如キ小規模ノコトデハ到底救済ハ出來マセヌ、第五ハ増稅ハ絕對ニ反對ニアラザレドモ不信任ナル內閣ノ提出案ナルガ故ニ反對スルコト云フコトデアル、如何ニモ本員等モ現政府ノ無定見無方針ナルコトニ付テハ信任ハ致シマセヌカナレドモ、僅々トハ言ヒナガラ九票ノ少數ヲ以テ不信任案ガ不成立ニナッタ以上ハ致方ガナイ(ヒヤ)「三案トモ贊成スベシ」ト呼フ者アリ、吾々ノ嫌ヒノ不信任ナルコトコロノ政府ガ提出スル案ハ善モ惡モ可モ不可モ選バズ皆反對スルコト云フガ如キコトハ、今日ノ政治家ノ大ニ取ラザルコトデアアル、殊ニ又戰後經營ノ大困難ナル今日ノ場合ニ於テハ最モ是等ノ如キ感情的ノコトハ棄テナケレバナラヌ場合デアル、此五ツノ理由ニ依リマシテ大體ニ増稅ハ已マシ得ズ贊成シナケレバナラヌト云フコトニ考ヘテ居リマス、石油稅ニ至リマシテハ政友會諸君ト大ニ見ル所ガ異ニテ居リマス、ソレト云フモノハ吾々ハ財政計畫ニ於テ忍バレル限リハ忍シテ國民ノ負擔ヲ輕カラシムル精神ト、此等ノ稅ノ如キハ將來ノ社會上大ニ慣マナケレバナラヌト云フ理由ヨリ、石油稅ニハ反對ヲ致シマス、諸君、現今ノ社會ノ狀態ハ如何デゴザイマス、年一年ト貧富ノ懸隔著シクナッテ來ル今日ノ狀態デアル、此狀態ニ依ッテ窮極致シマスニコロヨリマス、社會上如何ナル惡結果ヲ來スカト云フコトハ大ニ考ノ有ルモノ、憂慮スルニコロデアリマス、然ルニ徵稅上ノ狀態ハ如何デアルカト云フ、鹽專賣法、此專賣ノ上リ高二千七百萬圓ノ中デ、鹽ヲ買入レタ殘リノ二千萬圓バカリノ大部分ノ納稅ハ、細民ガ負擔ヲシテ居リマス、又輸入米一石ニ付キ一圓五十錢ノ課稅、其總額三百幾萬圓ハ、是ハ富者デナイ外國米ノ下等米ヲ食用スル細民ガ悉ク納稅シテ居ルコトデアル、此細民ニミ重クシテ富民ニ比較的輕イ今日ノ狀態ニ、尙是上負擔セシムルニ一石一圓デアルカラサノミ苦痛ヲ感ジナイト云フガ如キ理由アリ、此石油ノ課稅ヲスルコト云フハ、是亦細民ノ負擔ヲ甚シク重クスル一ノ原因デアルと思フ、何ヲ以テ此石油ハ細民ノ負擔ト申シマスルカト云フ、大體上等ノ人ハ電燈、瓦斯ヲ使用シテ石油ヲ用ユルモノハ少ナイ、ソレ故大部分ハ細民ノ負擔トナルコトデアル、故ニ本員ハ石油稅ニ反對致シマス譯デゴザイマス、反對論者ハ言ハントス、此石油稅ヲ廢シテ百五六十萬圓ノ補填ハ如何ナル財源ヲ以テ之ヲ充タスカト云フ反問ガゴザイマス、是ハ甚ダ容易イコトデアル、四十一年度カテ四十二年度ニ繰越ス三千三百萬圓ヲ以テ補填スル、(ヒヤ)「ト呼フ者アリ滿場哄笑」四十二年度以降ハ煙草ノ値上酒造稅ノ増收、自然的ノ增收ヲ以テ優ニ百五十萬圓ノ補填ハ出來ルト信ジテ疑ヒマセヌ、右ノ如キ理由ヲ以テ本員ハ酒造稅砂精稅ニ贊成致シマシテ石油稅ニ反對ヲ致シマス

○議長(杉田定一君) 合田福太郎君

(拍手起立)

○合田福太郎君 昨今問題ニテ居リマス案ノ全體ニ付キマシテ反對ヲ致シマス、此案ノ出シテ趣意ハ歳出入ノ權衡ヲ保タシメテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトニ付趣意、現内閣ハ提出サレタノデアル、此歳出入ノ權衡宜シキヲ得テ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトニ付コトニ付キマシテハ、朝野ヲ通ジテ何人モ反對致シマセウガ、現内閣ノ執シテ居ルヤウナ此増稅案デハ、此三案ヲ提出致シテ計畫デハ吾々ハ歳出入ノ權衡宜シキヲ得テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトハ思フ、ナリノデアリマス、若モ斯ル手段ヲ執シテ歳出入ノ權衡宜シキヲ得、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトガ出來ルモノナラバ、贊成論者ノ一人ナル大岡君ノ述ベラレタヤウニ、經濟上ノ不堅固、詰リ之ヲ割シテ申シマスレバ例ヘバ國庫債券ガ非常ニ下落シテ其タメニ私設鐵道ノ買上ニ付テハ、株主ガ非常ノ損害ヲ受ケマセウ、又他ノ例ヲ引ケバ經濟狀態ノ不堅固ノタメニ諸物價ガ騰貴シテツレガ爲メニ商工業ノ上ニモ苦痛ヲ與ヘテ居リマセウ、斯様ノ例ヲ舉グレバ澤山アリマスガ、概シテ大岡君ノ言フ如ク之ヲ以テ不堅固ノ經濟狀態ヲ救フ事ガ出來マセウカ、斯ノ如キ手段デハ右様ノ望ヲ達スルコトガ出來ナイト思フ、何故ナレバ政府ノ財政上ノ一番缺點ト思フ所ヲ申スト、此増稅案ノ通りニシテモ明治四十一年度四十二年度ハドウ云フコトヲセラレテ居ルカト云フ、歳入ノ上デハ三ツノ手段ヲ執シテ居ルノデアル、一ツガ増稅、一ツガ剩餘金、一ツガ公債、此三ツノ手段ヲ執シテ居ルノデアル、今日マデ歳出入ノ權衡宜シキヲ得ナイ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト論シマス、剩餘金ヲ繰入レ、公債ヲ募集スル、此二ツノ手段ヲ財政ヲ處理シタカラデ、是ガタメニ種々ノ失敗種々ノ都合ガ起リタルデアル、(野田卯太郎君)贊成ト云給ヘ、君ノ贊成ノヤウニ聽エルト呼フ、野田君暫ク……若モ政府ガ財政上ノ基礎ヲ鞏固ニシテ歳出入ノ權衡宜シキヲ得セシムルナラバ、剩餘金トカ公債ヲ募集トカ云フモノニ付テ、モウ少シ注意シナレバナラヌ(君ノ贊成ナカ、反對ナカ分ラヌト呼フ者アリ)勿論反對デス、何故ナレバ四十年年度ノ豫算ヲ見テモ、公債ヲ四千圓募集スルコトニテ居ル、又剩餘金ヲ約七千萬圓入レルコトニテ居ル、即チ此二ツデ一億一千万圓ヲ繰入レルモノデ、此繰入ノ多分ト云フモノガ公債ニ據ルノデアル、即チ剩餘金ノ七千万圓ト云フモノモ、過半ハ公債ヲ募集シナレバナラヌモノデ、現金ハ無イト云フコトハ豫算委員會其他ニ於テ政府ノ説明シタコトニ依ッテ明カデアル、又其上ニ本年度ニ於テハ臨時軍事費ノタメニ募集シタ第一回ノ國庫債券一億圓ト云フモノヲ償還シナレバナラヌ、サスレバ併セテ二億圓カラノ公債ヲ募集シナレバナラヌト云フヤウナコトニナルデアル、是ガ出來ナレバ其施行ガ出來ナイト云フヤウナ譯デアル、現此四十年年度ノ公債募集ノ如キモ年度末ノ今日ニ至ルマデ、内外經濟狀態ノ不況ニ依ッテ其募集ヲ許サヌト云フヤウナ次第デ、政府ハ未ダ募集シテ居ラヌノデアル、四十年年度ノ豫算ノ施行ヲ終ヘルト同時ニ四十一年度ノ豫算モ豫算計畫ノ通り施行シヤウト思ヒマシタナラバ、一億萬近クノ公債ハ決シテ内外共ニ募集ハ出來ナイト思ヒマス、臨時軍事費一億萬圓ノ借替四十一年度ノ公債、ツレカラ四十年年度ノ公債、是ハ決シテ容易ニ募集ハ出來得ラレルモノデアルマイト思ヒマス、(アケセントガ宜クナイカラ分ラナイト呼フ者アリ)左様デスカ、ツレデ吾々ノ見ル所ニ依リマス、若モ政府ガ歳出入ノ權衡ヲ取ツテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト云フ御意見デゴザイマスレバ、歳入ノ上ニ付テ、今少シ整理ラシテ其上ニ是ヨリ上ハモウドウシテモイケンナイ、即チ歳入ノ最限度ト云フモノヲシカリ定メマシテ、然ル後ニ歳入ノ整理ヲ致サバナルマイト思フ、然ルニ歳入ノ上ニ付テハ、ドレダケ

ノ手段ヲ執ツタカト云フト、僅ニ繰延ノ手段ヲ執ツタカデス、其繰延ノ手段ト云フコトハ決シテ惡ルイコトデナイ惡ルイコトハアリマセウガ、今一步進シテ到底豫算ノ執行ノ出來ナイモノナラバ、何故打切ラシナイカ、何故打切ラシテ財政ノ整理ヲシナイコト考ヘマス、若シ歳入ノ上ニ政府ガ大手手段ヲ揮フト云フノデゴザイマスレバ、此歳入ニ今少シ緊縮ヲ加ヘマシテ、陸海軍費ニ限リマセウ、其他總テノ政府ノ經費ハ上ニ、國家ノ經費ノ上ニ緊縮ヲ加ヘテ、歳入ト相伴ハシメルヤウニシテ、少クトモ剩餘金ノ繰入、若クハ公債ト云フヤウナモノ、借金政略ニ依ラズシテ、歳出入ノ權衡ノ取レルヤウニセネバナルマイト思フデス、若モ此案ガ行ハレルモノトシマシテモ、他ノ煙草ノ直上ヲ加ヘマシテモ、一箇年ニ三千万圓バカリノ増額ニシカナラナイデス、然ルニ政府委員ノ辯明スルコトコロヲ聽キマシテモ、四十二年度モ約一億一千万圓ト云フモノガ不足ニナル、ツレカラ四十二年度以下五六箇年ヲ經テ政府ノ計畫通り致シマシテモ、四十六七年度デモ、尙五千万圓ノ不足ガアルト云フノデス、然ルニ此増稅ノ金額ハイクラデアルカト云フト、僅ニ三千万圓デス、サウシテ三千万圓ノ増額ヲ以テ此通りニ現在ノ儘デハ最少額デモ五千万圓ノ不足ガアルト云フノデハ、連モ突合セハ取レマイト思ヒマスガ、ツレニハ歳入ノ上ニ於テ、減ズルモノモアリ、或ハ税目ノ上ニ自然増加スルモノモアルカラ、双方ノ出入ノ權衡ハ取レルト云フノデアルガ、是ハ私ハ非常ニ安心ノ出來ナイ問題デアラウト思ヒマス、タカラ若モ政府ノ計畫通り致シマスレバ、歳入ノ上ニ於テ緊縮ヲ加ヘテ、然ル後ニ歳入ノ上ニ新ナル計畫ヲ立テラレタラ、宜カラウト思フ、若モ歳入ノ上ニ足リナイモノトシマシテモ、現在ノ如キ酒或ハ砂糖石油ト云フヤウナ物ニノミ増稅ラスルト云フコトハ、税制ヲ整理スル上ニ於テモ、餘程考モノデアラウト思ヒマス、ツレデ政府ノ執ル所ヲ見マスルコト云フト、度々變更シテ居ル、最初戦後ノ經營ヲ致シマスレバ時分ニハ、非常特別稅ヲ繼續シテ是デ最早増稅ヲシナイト云フヤウナ決心ガ、表面ニ現ハレテ居ル、ツレハ何故カト云ヘバ、税制ヲ整理シマス時分ニ、歳入ヲ減ジナイヤウニ、非常特別稅ノ歳入ハ減ジナイ範圍ニ於テ、税制ヲ整理スルコト云フ手段ヲ執ツテ居ル、其當時ハ増稅ヲスル考ハ無カッタ、其當時ニハ政府ハヤハリ非常特別稅ヲ整理シテ、之ヲ繼續スルト同時ニヤハリ公債ヲ募集ト剩餘金トテアル、然ルニ昨年ノ豫算編成ノ前ニ當リテ、政府ノ計畫ガ復タ一變致シマシテ、更ニ増稅ヲ加ヘテ、増稅ト公債ト剩餘金トノ三手段ヲ往クト云フコトニナッタノハ、歴々政府ノ執ルトコロノ手段ヲ分ツテ居ルデス、若モ政府ガ從來執ツテ居ルトコロノ剩餘金ト公債ヲ進メバ、マダ一貫シテ居リマスガ、ツレヲ棄テ、其主義ヲ棄テ、更ニ増稅ヲ加ヘテ三ツノ手段デアルヤウニナリマシタカラシテ、或論者ノ云フニ、此場合ニ増稅ヲシナクテモ、明年五百萬圓位ノ金ハ、融通ハ付テハナイカ、四十二年度ニ至ッテ、三千三百萬圓程、剩餘金ヲ繰入レルカラ増稅ヲスルニ及バナイト云フ議論ガ自然ニ生ズルデアラウト思ヒマス、タカラ此増稅案ニ反對致シマスルノハ、税其モノヨリモ寧ロ今日増稅案ニ反對スル譯ハ、財政ノ基礎ハ是デハ鞏固ニナラヌ、是タケノコトヲシタノデハ、マダ歳出入ノ權衡ヲ取ルコトガ出來ラヌト云フノガ趣意デゴザイマス、ツレデ私ノ議論約メテ申シマスレバ、姑息ナル三千万圓ノ増稅ヲシテ、是デ財政ノ基礎ハ立ツ、歳出入ノ權衡ガ取レルト云フヤウナコトハ、現在ノ政府ノ執ルヤウナ手段デハ進モ行ハレナイ、決シテ出來ルモノデナイカラシテ、若モ歳出入ノ權衡ヲ取リ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコト云フナラバ、増稅ノ手段ヨリハ歳入ノ緊縮ヲ圖ル方ガ捷徑デアル、其方ガ手近デアル、其手段ヲ執ラズシテ漫ニ増稅ヲスルコト云フコトハ、吾々ノ贊成スルコトノ出來ヌ譯デアルト云フノガ、反對ヲ致シマスル理由ノ大本デゴザイマス

○議長(杉田定一君) 征矢野半彌君

(征矢野半彌君登壇)

○征矢野半彌君 昨ハ演説下手ノ上ニ、大分諸君モ御退屈ノ容子アリマスカラ、極メテ手短ニ申ス積リデアリマスカラ、ドウカ暫時御容赦ヲ願ヒタイト考ヘマス、段々反對論者ノ御議論ヲ承テ見マスルニ、最初大津淳一郎君ノ御議論ハ唯現政府ヲ罵倒スルノ一點張りノ御議論ト聞エマシテ別ニ是ツト云フ私ハ御答スベキ點ヲ見出サヌデゴザイマス、又其他ノ諸君ニ於キマシテモ、多クハ罵詈譁ノ言葉ヲ以テ論旨ヲ修飾致サレマス、實物ト云フモノヲ私ハ見出スコトガ出来マセヌ、私ハ幸ニ致シマシテ、豫算委員タルガタメニ進歩黨ノ院內總理大石君ノ御説ヲ屢ニ承テ居リマス、是ガ多分進歩黨諸君ノ御議論デアラウト考ヘマスカラ、聊カ批評ヲ加ヘテ賛成ノ意思ヲ完ウセント考ヘマスガ、併シ唯今出ラレタ諸君ノ説ニ向テ、マルデ御答ヲセナイト云フコトハ紳士ニ對スル禮ヲ缺キマスルカラ、少シハ御答ヲ致サウト考ヘマス、早速整爾君ノ御議論ヲ承テ見マスルト、政府ガ手腕ヲ用井サヘスレバ歳出ハ減ジラレル、歳出ヲ減ジラレルト云ハレマス、成程演壇ニ立ツテ腕ヲ振フ位ノ手腕ナラバ如何ニモ出来マセウケレドモ、ナカ／＼錢ヲ減スコトハサウ云フヤウナ譯ニハ往キマセヌ、ドノ點ヲスレバ宜イカト云フコトナセ御示シナサラス、察スルニ多分行政整理デアルトカ、或ハ財政ノ繰延デアルトカ、事業ノ繰延デアルトカ云フヤウナ御議論デアラウト考ヘマス、是等ノコトハ大石君カラモ屢ニ豫算會議ヲ承テ依リマシテ、私ハ其點ニ付テ御話ヲ致サウト考ヘマス、又人民ガ苦痛ヲスルカラ稅ヲ掛ケルナ掛ケルナ言ハレハ、是ハ私モ人民ノ苦痛ト云フ段ニ至テハ御同感デアリマス、現在ノ租稅ヲ人民ハ苦痛ヲ感ジテ居リマス、諸君ハ只手段ヲ言ハズシテ人民ノ苦痛ナルガタメニ稅ヲ掛ケルコトハイケンナイ云フナラバ、ナセ男ヲシテ減稅論ヲ御出シナラヌカ、悉皆増ヲ止メシマウタナラバ、是ヨリ人民ノ喜ブコトハナイデアリマセウ(暴論ト呼ブ者アリ)喜ビマセヌカ、喜ブデアリマセウ(ヒヤ／＼ト呼ブ者アリ)併ナガラ此ノ如キコトハ道理上許サナイコトデアリマスルカラ、諸君ニシテ唯人民ノ苦痛デアルト云フヤウナ、人民ニ媚バヤウナ聲ヲ發セズ致シマシテ、男ヲシテ事業繰延ハ斯ウ致セバ宜シ、財政整理ハ斯ウ致セバ宜シト云フコトヲ御述ニナルガ私ハ宜シト考ヘマス、成程財政整理ト云フコトハ是ハ私モ御同感デアリマス、サリナガラ政費削減ト云フモノハ是ハ問題ガ違ヒマス、繁文褥禮ヲ省キ、事ヲ敏捷ニスルト云フコトハ行政整理ノ目的デアリマス、サリナガラ人員ヲ減ジ、或ハ局課ヲ廢合スルト同時ニ、人ノ給料ト云フモノハ今日ノ民度ニ適セナイ、役人ノ給料デアルト云フコトハ、諸君モ御承知デアリマセウ、是モ上テヤラナケレバナラスト云フコトハ分リキタ話デゴザイマスカラ、是等ノ問題ヲ考ヘマスルト云フト、或ハ行政整理ノ結果ト致シマシテ、多シ金ガ減ズルカ増スカハ知リマセウケレドモ、之ヲ以テ日本財政ノ今日ヲ救フト云フ議論ハ、是ハ言フベクシテ行ハレナイコトヲ議論ト私ハ考ヘマス、茲ニ至リマシテ私ハ男ヲシテ繰延ト云フコトヲ、大石君ノ御議論ガ最モ反對黨ノ諸君ト致シマシテハ、其議論ヲ御立ニナルニ便宜ヲ議論デアルト考ヘマス、事業繰延ト云フコトハ、方面ニ向テ言フカト云ヘバ、即チ御議論ヲ承ハレバ軍事上事業繰延ヲ今少シシテ大ニヤルガ宜イト云フ御議論デアリマス、是ハ具體的デハナイケレドモ、ソレハ局外者ニ分ルモノデアリカラ、政府當局者ガ今少シノ軍事上ノコトヲ縮小シテ往テハドウデアリカト、斯ウ云フ御議論ノヤウニ考ヘマス、是ハ局外者カラ言フベキニナデハ大石君ノ御議論モ已マラ得ヌコト、私ハ察シマス、其軍事上ノ事業繰延ハ一層激シクシテ宜イト云フコトヲ御考ニ於テハ、東洋ハ今日ホド平和ナトハナイ、日本ハ今日程安全ナトハナイ、デヤニ依テ軍事上ノ繰延ハ十分ニ致サレト云フコトヲ御議論據

デアリマス、併ナガラ此ニ至ッテ私ノ大石君ニ向ッテ問ハント欲スルコトハ此平和ト云フコトハ何處カラ來タモノデアラウカ、大石君曰ク日英ノ同盟、日佛ノ協約、日露ノ協約ナドガ出来テ居リカラ、東洋ハ今日平和デアルト云フコトヲ御話ニナル、是ハ私モ御同論デアリマス、併ナガラ此日英同盟ガ出来、日佛協約ガ出来、日露協約ガ出来タトコロノ此原因ハドウニアルガウカト云フコトヲ考ヘマスレバ、日本ニ軍備上ノ實力ガ十分ニアルト云フコトガ、是ガ私ハ大原因ニナッテ居ララウト考ヘマス(ヒヤ／＼ト呼ブ者アリ)顧ミテ日清戰爭ノ原因ハドウデアリカト云フコトヲ考ヘマス、支那ガ日本ノ實力ヲ知ラズ致シマシテ、漫リニ日本ヲ侮シタコロカラ戰爭ト云フモノハ起ッタモノデアリマス、日露戰爭又然リ、日本ノ實力ヲ知ラズ致シマシテ日本ヲ侮シタ結果ガ、即チ日露戰爭ヲ惹起シタモノデゴザイマス、戰ウテ見レバ想ノ外強イ、是デアレバ日本ト同盟ヲ致シ協約ヲ致スガ、世界ノタメ當然デアルト云フ考ヲ起シタノハ、即チ平生ノ軍備ヲ見テヤルノト、又戰爭ノ結果ニ依ッテ是ハ成ッタノデゴザイマスガ、私ハ進歩黨諸君ニ向ッテ御尋シヤウト思ヒマスルガ、二十九年日清戰爭ノ後ニ至リマシテ、我國ノ六師團ヲ増シテ十二師團ニスルト云フ際ニ、進歩黨諸君ノ於キマシテハ、反對セラレタ諸君デアリマス(拍手スル者アリ)諸君、進歩黨諸君ノ於キマシテハ、當時ニ行ハレテ居リマシタナラバ、日露戰爭ニ日本ガ今日ノ光榮ヲ有スルコトガ出来タデアリマセウカ(拍手起ル)幸ニシテ進歩黨諸君ノ議論ノ行ハレズ致シテ、御同様軍備擴張ニ同意スル者ノ議論ノ行ハレタ結果、日本ヲシテ世界第一等ノ光榮ヲ得セシメタルコロノ原因デゴザイマス(拍手起ル)之ヲ考ヘテ見ラレマシタナラバ、再ビ日本ニ於テ斯ノ如キ議論ノ起ルト云フコトハ、餘程此議論ヲナサル諸君ニ於キマシテハ、當時ノ日本ニ行ハレタ議論ノ論者デナクシテ、其失敗ノ經驗ヲ重ネテ他ノ議論者ノ御蔭ニ依ッテ已モ亦戰捷國ノ一議員タルコトヲ得テ居ルトコロノ諸君ハ、多少ノ御考ガアデ宜カラウト私ハ考ヘマス(拍手起ル)(可哀サウダト呼ブ者アリ)特ニ軍事上ノコトニ付キマシテハ御互ニ研究シナケレバナラス、是ハ交通ノ日々便利ニナラントシ、又便利ニナッタ結果ガ以前ノ軍備ト今日ノ軍備ト、ドレヲ關係ガアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、諸君ノ御案內ノ通りニ蘇士運河ガ一万噸ノ軍艦ノ通過ナイ前デゴザイマシタナラバ、東洋艦隊ヲ遣ルトカ、或ハ西洋艦隊ヲ遣ルトカ云フコトガ出来マシタケレドモ、彼ノ蘇士運河ガ一度一万噸以上ノ船ガ通過スルコトガ出来タ以上ト申シマスルモノハ、波羅の艦隊ガ御承知ノ通り日本ニ襲撃スルコトガ出来タデアリマセウ(簡單分ッタク)ト呼ブ者アリ諸君ハ冷靜ニ御聽テ彼此ノ冷靜ヲ御下シニナルガ、ソレハ男ヲシクナイ話デ、私ノ議論ニ向ッテ再ビ登壇シテ辯解ナサイ、其後ニ向ヒマシテハ、バナマ運河モ將ニ開ケントスル場合デアリマス、ソコ昔ハ海軍ニ於キマシテハ大變日本トカ歐羅巴トカ亞米利加トカ云フモノハ、遠イ所ノヤウニ思ウテ居リマシタナレドモ、波羅の艦隊ガ日本ニ來ルト同時ニ、又亞米利加ノ艦隊ガ太平洋ニ來ルト同時ニ、殆ド鄰國ノ如キ有様ニナッテ參ッタデアリマス、是ニ向ッテハ日本ハ海軍上ノコトニ於テ餘程是ハ注意シナケレバナラナイト云フ今日ノ狀態デアリマス、而シテ又陸上ノ有様ヲ見マスルト鄰國、各國ノ有様ハドウ云フ有様デゴザイマス、試ミテ露西亞ノ有様カラ考ヘテ見マシテモ、此度日露戰爭デ日本ハ僅カテ兵ヲ以テ露國大兵ニ勝ッタ原因ハ、何處ニアルカト申シマスレバ、將校士卒ノ忠勇ナルコトモアルデアリマセウ、何處種々ノ原因モアルデアリマセウケレドモ、主ナルコトコロノ原因ハ西比利亞鐵道ガ單線デアッタト云フコトガ、是ガ彼ノ兵ヲ多ク東洋ニ送ルコトノ出來ナイ原因デアルト云フコトハ、御互ニ承知シテ居ルトコロデアリマス、然ルニデス西比利亞鐵道ハ露西亞ノ有様ハ如何デアリマセウ、彼ニ向ッテハ悉ク

復線ノ數カントシテ居ルデアリマセウ、而シテソレノミナラズ致シマシテ、尙「レナ」河ノ河
水ヲ利用シテ、彼ハ大運河ヲ造ラント致シテ居ルデアリマス「オムスグ」以東ニ於キマシ
テハ露西亞ガ平時ニ兵ヲ置イテ居ルコロノ兵數ハアレ程デアリマセウ（笑聲起ル）御笑
ニナル諸君ガアルナラバ、兵數ヲ云ウテ御覽ナサイ、御承知デアリマス、諸君、嘲ケル
コト勿レ、先刻大津淳一郎君モ日本ノ師團ハ二十個師團ト云フコトヲ言ハレ、大石
君ノ演說中ニモ亦二十個師團ト云フコトヲ言ハレテ居ル、私ハ言葉ノ間違アラウレ
思フテ居リマセウ、ドノ諸君モ皆日本ノ師團ハ二十個師團ト言ハレトコロヲ見レ
バ、軍事上ノコトニ向ッテツシムハ笑フ程ノ資格ハナイ諸君デアリト信ズルデアリマ
ス（簡單々々）呼フ者アリ（先ヅ私ノ立テ居ル權利内ハ六時マテ遣リマスカラ、御退
屈ノ諸君ハ御退散ナサイ）日本ノ兵員ト云フモノハ唯今御話申シマスル十九個師
團デアリマシテ、十九個師團ト申シマスモノ、中ニ一個師團ハ幹部ガ出來タトキデアリ
マシテ、全ク師團組織ハ成シテ居ラヌデアリマス、之ニ反シテ鄰國ノ露西亞ノ兵數
ハアレ程デアリマセウ、戰時ハ之ニ倍スルコロノ兵數ヲ有テ居ル國デアリマス、倍
有テ居ル國デアリマセウ、戰時ハ之ニ倍スルコロノ兵數ヲ有テ居ル國デアリマス、倍
抑此戰爭ノ起ル原因ト申シマスモノハ、何カラ起ルカト言ヘバ、一方ト此兵力ガ
對セズ致シマシテ、一方ガ一方侮ルタメニ起ルデアリマス、日本ノ鄰國ニ於キマシテハ
唯今御話申シマスル通り、我ニ非常ニ倍スルコロノ兵ヲ持ッテ居ルニ拘ハラズ日本
於キマシテハ財政困難ナルタメニ、僅ニ十九個師團ヲ養フテ居ルト云フコトデアリマスガ、
是モ當局者ニ於キマシテハ財政上ノ彼此ヲ考ヘマシテ、今マテノ計畫ニ尙十分ノ節減
ヲナシテ事業繰延ヲヤツテ居ルト云フ場合デアリマス戰後ニ於キマシテ此等ノ事ヲ爲スノ
ハ、私ハ當局者ニ於キマシテハ、餘程奮發シテ居ルコト、考ヘマス、此東洋ノ今日ノ
有様ヲ以テ考ヘマス、諸君ハ平和デアリカラ軍事上ノ事業繰延ヲ致シ、軍事上ノ繰延
コトヲ言ハレケレドモ、事實ハ之ニ反シマシテ日本ガ事業繰延ヲ致シ、軍事上ノ繰延
ヲ致シマシタナラバ、其結果ハドウデアリカト云ヘバ、即チ戰爭ヲ再ビ呼起ストコロノ根源
ニナルデアリマス、諸君ハ平和ノタメニ軍事上ノ事業繰延ヲ致セルト御話ニナルケレドモ、
其結果ト申シマスモノハ戰爭ヲ起ストコロノ原因ニナルト云フコトデアリマス、此等ノコ
トヲ考ヘテ見マス、政府ハ一億數千萬圓ガ陸海軍ニ向ッテ事業上ノ繰延ヲナシテ
居ルト云フコトハ、餘程是ハ責任ヲ買ウテヤタコトデアリト考ヘマス、私ナドハ未ダ海
軍ノ質問會ヲ致シマセヌカラ、ドウ云フコトカ知リマセヌケレドモ、海軍ノ事業繰延ノ如
キニ至ッデハ、果シテアレダケノ繰延ヲシテ、當局者ハドウ云フ責任ヲ持タル、考デアリカ
ト云フコトヲ問ウテ見タイト思ウテ居ルトコロデアリマス、諸君ノ平和ノタメニ事業繰延
ヲナサラウ、即チ軍事上ノ繰延ヲナサラウト云フ考ハ吾々ハ固ヨリ同意デアリマスケレド
モ其結果ハ一度國勢上ノ平均ガ動イテ來マシタナラバ、必ズ戰爭ヲ促ストコロノ結果ヲ
來スコトニナリマス（簡單々々）呼フ者アリ（ドノ邊ヲ簡單ヲ願ハル、カ知ラヌガ、諸君
ガ話ヲナサレバ益ヤリマス、（「謹聽々々」）呼フ者アリ）隨分此等ノ同僚諸君ヲ考ヘマ
スルト云フ、失禮ナガラ諸君ノ中ニ於キマシテハ舊來民權自由ノタメニ財產ヲ失ヒ生
命ヲ捨テアルヤウナコトヲセラレタ諸君モ多イ、其際ニ於キマシテ愛ヲ先ニシテ樂ヲ後
ニスルト云フ考ガ、殆ド日本ノ空氣ガ政黨間ニ充テテ居リマシタコロガ、近來此
反對セラル、トコロノ諸君ノ議論ヲ聽イテ見マス、何等ノ私ハ理由ヲ發
見スルコトハナイノデアリマス、大石君ハ曾テ豫算總會ニ於キマシテ此財
政計畫ヲ評シテ今財政計畫ハアレハ政治眼ヲ以テ作ッタノデナクシテ、
軍事眼ヲ以テ作ッタノデアリト云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハ反對者諸君ニ向ッテ問ハ
ント欲スル、諸君ハ議員眼ヲ以テ豫算ヲ減シ、増稅案ヲ議スルニアラズシテ總選舉眼ヲ

以テ、總テ之ニ御議論ノアルコトデアラウト吾々ハ考ヘマス（「ヒヤ」）「ト呼フ者アリ」大
同派諸君ニ向ッテ、私ハ一言ヲ述ベマスガ、諸君ガ吾々ト二案ニ御同意ニナッタノハ、吾々
ハ喜バシイコトデアリマス、サリナガラ殘念ナコトニハ、石我油ノ一銀ニ至ッテ諸君ノ
御反對ノアツタノハ實ニ遺憾ニ存ジマス、併ナガラ私ガ考ヘマスルニハ、石油稅ト雖モ
諸君ノ御懸念ニナル程ツレ程重稅ナモノ、デアリマセウ、一合一厘ノ稅デアリマス、成
程苦痛ハ苦痛ニ違ヒナイ、酒ノ稅モ苦痛、砂糖ノ稅モ苦痛デアリ、之ニ比較シテ見マ
スレバ、敢テ石油稅ノミガ殊更ニ苦痛ト云フ程ノコト、考ヘマセヌニ依ッテドウカ國家ノタ
メニ足テコトハ十分ニ御賛成アラントコトヲ希望致シマス
（拍手起ル）

○長谷場純孝君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス
（贊成「反對」ノ聲起ル）

○大藏大臣松田正久君登壇
（大藏大臣松田正久君登壇）

○大藏大臣松田正久君 諸君、増稅案ノ茲ニ提出セラレ、ヤ、反對演說ニ對スル
贊成論者ノ說ニ依リマシテ、自ラ此増稅ノ已ムヲ得ベカラザルノ理由ハ明カニナタト考
ヘルノデアリ「ノウ」謹聽「ト呼フ者アリ」併ナガラ政府モ尙茲ニ増稅案ヲ提出致シ
タルコロノ大體ノ理由ヲ一言致スノハ適當タト考ヘルニヨリ、暫ク諸君ノ清聽ヲ仰グ
デアリマス（「謹聽々々」）呼フ者アリ（凡ソ二七七八年ノ戰役ノ如キ、大事變ノ後ニ於テ
國家ガ財政ニ困難ヲ來スコトハ申スマデモナイ、而シテ斯ノ如キ財政ノ整理ハ、一年若
クハ二年ノ間ニ於テ出來得ベカラザルコトモ是亦言フヲ待タヌコト、考ヘル、而シテ政府ハ
三十九年度及四十年年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リ、戰後經營ノ端ヲ開キマシテ、諸君
ノ協贊ヲ求メタル議案モ多クアツタデアリ、然レニ四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當
テハ愈以テ姑息ノ財政方針ヲ立ツルコトハ、慎マナケレバナラヌ、故ニ政府ハ今日内外
ノ狀勢ニ鑑ミマシテ、茲ニ將來財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルノ方針ヲ取ッテ編成ヲ致シタ
デアリ、ソコデ政府ハ先ヅ第一ニ既定歳入ノ繼續費、一億數千萬圓ノ繰延ヲ斷行致シ
タルデアリマス、即チ既定ノ繼續費ト雖モ、緩急ヲ能ク討リマシテ、出來得ル限りハ、各省
ノ各科目ニ付テ繰延ヲ行ワタデアリ、尙又四十一年度ニ於テ各省ノ要求ハ多クアリ
マシタケレドモ、豫算御覽ニナレバ、必ズ御分リニナルデアラウ、殆ド新規ノ事業ト云フ
モノハ、之ヲ止メルノ方針ヲ取ッタデアリマス、然レドモ尙將來ノ財政ヲ鞏固ナラシム
ルニハ、之ヲ以テ足レリトハ致サヌ、故ニ増稅案ヲ提出スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタ次第
デアリマス、若モ四十一年度ノ財政ノミニ著眼ヲ致シテ見レバ、諸君ガ既ニ論セラ
ル、如クニ、決シテ歳入ニ不足ヲ多ク感ジテ居ナイノデアリガ、財政ノ不鞏固ト云フコト
ニナリマスレバ、國家ノ信用モ隨分考ヘンケレバナラヌコトデアリカ、茲ニ國家ノ財
政ヲ鞏固ナラシムルニハ、已ムヲ得ズ増稅ヲ致シテ數年ノ先ノ見込ヲ立テルノハ必要デ
アルト考ヘタデアリ、倍又消費稅就中石油稅ノ如キハ細民ニ最モ苦痛ヲ感ゼシムル
ト云フ御議論モ出テ居リマスガ、固ヨリ課稅ト云フモノハ、如何ナルモノト雖モ其稅ハ
ナイノデアリ、是ハ抑々程度論ト考ヘル、消費稅ニ致セ、其程度宜シキヲ得サレバ左程
細民ニ難儀ヲ與ヘルモノデナイデアリ、日進月歩元氣ノ充溢セル國勢ニ考ヘテ見マ
スレバ、消費稅ノ課稅ト雖モ其程度ノ輕キ場合ニ於テハ必ズヤ多分ノ苦痛ヲ感ズルモノ
デナイデアリ、況ンヤ戰後ノ國民デアリ、此國民ハ必ズ覺悟ヲ致サンケレバナラヌ、
我國民ハ最後ノ目的ヲ達スルニ至ルマデハ多少ノ苦痛ヲ忍ブト云フコトハ、覺悟致シテ
居ルデアラウト私ハ考ヘルデアリ（拍手起ル）反對論者ハ、選舉人ニ對シテ如何ニ御述ニ
ナルカハ知ラヌガ、諸君ノ選舉人ハ必ズ此増稅ノ負擔ヲ喜ンデ迎ヘララウト思ヒマス
（「ノウ」）「ヒヤ」決シテ之ニ御懸念ナクシテ、選舉場裡ニ臨マル、コトガ

〔久保伊一郎君登壇〕

○久保伊一即君 諸君成ルダケ簡單ニヤリマス、此酒造稅法ノ改正案ガ問題ニナツテ居リマス、此場合ニ於キマシテ、本員ハ此稅法ノ第六條中(森本駿君ノ議長五條ガ問題ニナツテ居リマスカラ、六條ニ飛シテハイケマセヌデヤナイカ)ト呼ビ「全部ガ議題ニナツテ居ル」ト呼フ者アリ第六條中ニ於キマシテ修正ヲ致シタイト云フノデアリマス、其修正ノ箇條ハ先刻諸君ノ御手許ニ配付ニナリマシタ、諸君ニ於テモ御承知ノコトニ思ヒマスルガ、第六條中ノ即チ納期デアリマス、此納期ノ第四期ノ分ノ「翌年三月十六日ヨリ同三十一日限」トアルヲ翌年五月十六日ヨリ同三十一日限」ト改正ヲ致シタイトデアリマス、ツレカラ尙第八條ノ第二項ニ於キマシテ「但シ清酒ニ限り命令ノ定ムル處ニ依リ査定石數百分ノ二以內ノ洋引減量ヲ控除スルコトヲ得」トアル、其「洋引減量」ノ下ニ「持テ參シテ」竝毎每年五月一日ノ現在ニ依リ百分ノ三以內ノ火入減量」ト云フ、即チ文字ヲ加ヘタイトデアリマス、ツレカラ尙第二十三條此改正案第三十三條ノ「第二十四條乃至第二十八條ニ依リ處罰又ハ當分セラレタルモノ」ニ云トアリマスル其「二十八條ニ依リ」ト、「處罰」ノ間ニ、「三回以上」ト云フ四字ヲ加ヘタイトデアリマス、簡單ニ其理由ヲ辯ジマス(「分ツ分ツ」モウソレハ「宜イ」ト呼フ者アリ)宜イコトハアリマセヌ、私ハ和説ヲ出シマス以上ノ理由ヲ辯ジナケレバナラヌデアリマス、此第六條ノ第四期ノ三月末日限ノモノヲ五月ニ改正致シタイ理由ハ、三月ハ釀造家ノ最モ資金ノ運用上必要ナ時デアリマスカラ、今回此多年釀造家ガ増稅ノタメニ苦ンデ居ル今日デアリマスルカラ、唯二箇月ヲ延バシテ五月三十一日限ニ改正ヲ致シタイト思フノデアリマス、ツカラ第八條ノ方ハ火入ヲ致シマスルト相當ニ石數ガ減シマス、是亦減ジタモノニ對シテハ課稅スベキモノデナイノガ、最モ道理上適當ナコト、思ヒマス、既ニ百分ノ二以內ノ現行法ニ洋引減量ヲ認メテ居ルノデアリマス、洋引減量ヲ認メテ居ル理由ハ、元來清酒ヲシテ課稅ヲ受ケテ、一石ノモノヲ一石トシテ販賣ガ出來ナイノデアリマス、故ニ之ヲ減ズルノガ相當ナリトシテ、現行法ハ認メテ居ルノデアリマス、固ヨリ酒造家ハ此新酒ノ時代ニ賣リマスノハ、極少量デアリマシテ、多ク清酒ニ限リテハ火入ヲ致シマセヌト販賣ガ出來ナイノデアリマス、火入ヲ致シマセヌケレバ、即チ清酒ハ腐敗ヲ致シテシマフノデアリマス、火入ヲ致シマスレバ、必ズ之ニ對スル百分ノ二若クハ五位ノ缺減ガ往クノデアリマス、缺減ノ往ジタモノニ詣リ一石二十圓ト云フ課稅ヲスルト、現行ノ儘デ捨置イタナラバ、二十圓以上ノ課稅ヲ受ケルコトニナリマス、果シテツレモ尙致方ガナイトシテ、忍ビマスレバ法律ハ洋引減量認メル必要ハナイノデアリマス、洋引減量ヲ認メマスル以上ハ、此火入ノ減量モ概メルノガ當然ノコトト本員ハ考ヘルノデアリマス、ツレカラ此納期ノ改正ヲ致シマスルト、政府ノ方ニ於テハ所謂昨日ノ委員會ニ於テハ、大藏證券ヲ無限ニ發行シナケレバナラヌ、結局兌換券ノ増發ニ歸著スル、斯ウ云フコトデアリマシタガ、決シテ本員ハ左様ナコトニナラヌト思ヒマス、例ヘバ酒造稅ハ八千萬圓ノ歲入ガアリマスモノデアリマスレバ、之ヲ豫算ニ即チ四十一年度ノ豫算ニ於テ八千万圓ノモノガ、六千万圓ト計上スレバ宜イノデアリマス、サウスルト、翌年カラ八千万圓ト云フ計上ガ出來テ往クノデアリマス、決シテ減少スルノデアリマセヌ、ヤハリ二十圓ノ課稅ヲスルノデアリマス、殊ニ本年即チ四十一年度ニ於キマシテハ、三千三百萬圓ヲ來年ニ繰越スノデアリマスカラ、三千三百萬圓剩餘金ガ出來マスモノヲ、千三百萬圓剩餘金ガ出來ルト見タナラバ、四十二年度ノ歲入ニハ、即チ四十一年度ノ五月ニ當リマスル一千萬圓ノ財源ガ、四十二年度ニ廻テ來ルノデアリマス、一回其コトヲ忍ビマシタナラバ、ツレカラ以來ハ少シモ證券ヲ無理ニ發行スルト云フヤウナ、政府ノ大袈裟ナ反對ニハ少シモ關係ヲ有タヌノデアリマス、斯様ナ事實デアリマシテ、固ヨリ此酒造稅ナルモノハ間接稅デアリマシテ、消費者ニ課スルノデアリマスカラ、酒造家ハ何等差支ハナイ、斯フ思召スカモ知レヌガ實ハ間接稅ヲ消費者ニ轉嫁致シマスルモノ、之ヲ取次ギニスル此酒造業者ニ取リマシテハ、隨分困難ナ次第柄デアリマシテ、年々モウ此酒造稅ノ増稅ト云フコトニ至リマ

シテハ、餘程回ヲ重ネテ居ル今日デアリマスカラ、是位ノ酒造業者ニ對シテ思慮ヲ與ヘ
ルト云フコトハ適當ノコトデアリマス、現ニ營業稅、所得稅、間接稅ヲ法律ヲ以テ組織
シタルコトハ町村ガ徵稅ヲシテ、人民カラ徵稅ヲシテ國庫ニ納付スルノデサヘモ、多
少ノ手數料ヲ與ヘテ居ルデアリマセヌカ、斯様ナトキデアリマスカラ、酒造業者ニ對シテ
此ノ如キ重稅ヲ課シマスル今日ニ於キマシテハ、多少ノ手數料ヲ與ヘルト云フ思召ヲ以
テ是等ノ思召ヲ與ヘラレンコトヲ諸君ニ於テ御贊成アラント希望致シマス

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 久保君ノ折角ノ御修正案デアリマスケレドモ、吾々ハ之ニ反對シテ
委員長ノ報告ニ贊成シ、尙速ニ採決アラント希望致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 別段ニ御議論モ無イヤデアリマスカラ採決致シマス、尙採決
ノ順序ヲ御話致シマス、先づ第一ニ久保君ノ修正案ニ付テ採決ヲ致シ、次ニ委員長ノ
報告ニ付テ採決ヲ致シマス、久保君ノ修正案ニ二箇條アルデアリマス、先づ其各條ニ
付テ採決致シマス

〔一括シテ宜イト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 一括シテ採決スルト云フ御議論ガ多ウケレバ、三箇條一括シ
テ採決ヲ致シマス、久保君ノ修正案ニ二箇條デアリマス、久保君ノ修正案ニ御同意
ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

起立者 少數

○議長(杉田定一君) 少數デアリマス、否決ニナリマシタ、次ハ委員長ノ報告ニ付テ
採決ヲ致シマス、委員長ノ報告通り全部御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開イテ確定サレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 唯今委員長ノ報告通り議長ニ於テハ御異議ハナイト認メマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開イテ確定サレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開イテ確定スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

酒造稅法中改正法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、二讀會ニ於テ決議ノ通り御異議ハ
アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、本案ハ確定ヲ致シマシタ

〔拍手起ル〕

○議長(杉田定一君) 諸君ニ御諮リ申シマス、日程第六、第七、第八即チ酒精、麥
酒、砂糖ノ三案デアリマス、此三案ニ對シテハ別段修正ガ出テ居リマセヌカ、三案ヲ
一括シテ二讀會ノ通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、三案ヲ一括シテ二讀會ヲ開キマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、三案ヲ一括シテ二讀會ヲ開キマス

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、三案ヲ一括シテ二讀會ヲ開キマス

麥酒稅法中改正法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、三案ヲ一括シテ二讀會ヲ開キマス

砂糖消費稅法中改正法律案

第二讀會

○議長(杉田定一君) 三案共委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ二讀會ハ決シマシタ

○議長(杉田定一君) 三案モ直チニ二讀會ヲ開カレテ確定サレンコトヲ希望致シマス

○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ發議ノ如ク此三案共直チニ二讀會ヲ開イテ確定
スルト云フニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案

第三讀會

麥酒稅法中改正法律案

第三讀會

砂糖消費稅法中改正法律案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 二讀會決議ノ如ク御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是ニテ三案共確定ヲ致シマシタ

〔拍手起ル〕

○議長(杉田定一君) 日程第九、石油消費稅法案ノ採決ノ順序ヲ御話致シマ
ス、本案ノ二讀會ヲ開クハ否ヤニ付テ採決致シマス、採決ノ方法ハ記名投票ヲ以テ採
決スルガ、議長ハ必要ト認メマス、本案ノ二讀會ヲ開クト云フコトヲ御方ハ白キ札、
即チ贊成ノ御方ハ白キ札ヲ、二讀會ヲ開クベカラズト云フトコロノ御方ハ青キ札、即チ
反對ノ御方ハ青キ札ヲ御入レニナルヤウニ願ヒマス——閉鎖——時間ハ最早定刻ニ垂
ントシテ居リマスケレドモ、延長ヲ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハアリマセヌカ——投票漏
ハナイト認メマス——開鎖——開匣

○議長(杉田定一君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告シマス
(林田書記官長朗讀)
出席議員 三百四十二
可トスルモノ 百八十二
否トスルモノ 百五十八

〔拍手起ル〕

(參照) 本案第二讀會ヲ開クヘシトスルモノ
東一 左右君 袖木慶二君 山崎良純君 中西新作君
池田 惟貞君 福島美之助君 岩元信兵衛君 脇太一郎君
小田 貫一君 武満義雄君 石川清君 初木太一郎君
坂元 英俊君 麥田宰三郎君 是永藏太郎君 山口新一郎君
川原 茂輔君 森本 駿君 山本繁造君 安藤新太郎君
横山 寅一君 永見 寛二君 池松豐記君 江藤哲藏君
河上 英君 向坂 弘君 恒松隆慶君 横井時雄君
島津 良知君 植木 元太郎君 中倉萬次郎君 宮崎純孝君
村野常右衛門君 菅原 傳君 改野 耕三君 伊藤傳右衛門君
藤野 金作君 由布 惟義君 毛里保太郎君 長谷場純孝君
征矢 半彌君 松田 正七君 中村龍彦君 龍彦君
大岡 作造君 武松 金吉君 木暮村龍彦君 龍彦君
多田 作兵衛君 佐藤 虎次郎君 武内美代吉君 小澤愛次郎君
宮部 襄君 藤 虎次郎君 武内美代吉君 小澤愛次郎君

宮古 啓三郎君 小山田 信藏君 關 信之介君 根 小本 正君
三善 清之君 中西 孫太郎君 古 井 由之君 森 茂 生君
景山 甚右衛門君 久保 彦太郎君 田 中 定吉君 佐 竹 作太郎君
海野 謙次郎君 大井 卜新君 渡 邊 千代足君 鈴 木 友治郎君
山 村 豐次郎君 關 根 柳介君 栗 塚 省吾君 高 梨 哲四郎君
後藤 文一郎君 村 松 愛藏君 武 市 康太郎君 福 岡 精一君
漆 昌 巖君 長谷 部 倉肇君 野 田 卯太郎君 栗 原 亮一君
築山 和 一君 元 田 保升太郎君 楠 目 玄君 內 藤 魯一君
濱 名 信平君 大 久 保升太郎君 江 原 素六君 鳩 山 和 夫君
磯 部 甚四郎君 原 丹 尾 賴 敬君 山 本 幸彦君 西 山 志澄君
林 小 參君 澤 田 清一郎君 宮 本 嘉樂君 森 久 保 作藏君
齋 藤 圭次君 中 村 清一郎君 栗 原 宣太郎君 鈴 木 藤三郎君
永島 龜代司君 長谷 川 豐吉君 板 倉 原 宣太郎君 橫 山 一平君
湯山 壽介君 高 橋 安爾君 天 野 倉 中君 江 原 勝太郎君
千 葉 禎太郎君 吉 植 庄一郎君 松 浦 五兵衛君 神 前 修三君
矢 島 純司君 遠 藤 庸治君 中 林 友信君 北 村 左吉君
寺 井 右內君 森 中 西 光三郎君 河 原 林 義雄君 上 野 彌一郎君
本 出 保太郎君 奧 野 市次郎君 瀨 下 秀夫君 鳥 海 哲四郎君
植 田 作次郎君 奧 繁 三郎君 青 柳 信五郎君 竹 越 與三郎君
立 川 雲平君 工 藤 善助君 丹 野 直平君 小 西 六次郎君
山 本 梯二郎君 九 山 峨一郎君 牧 野 紋三郎君 齋 藤 和 平太郎君
柳 田 藤吉君 內 山 吉太郎君 松 本 孫右衛門君 松 田 吉三郎君
阿 部 德三郎君 遊 田 安太郎君 牧 野 芳藏君 北 島 敬二郎君
山 森 隆君 藻 寄 鉄五郎君 望 月 逸馬君 愛 北 島 敬二郎君
三 浦 盛德君 石 井 義八君 望 月 小太郎君 寧 堅君
乾 奈 良吉君 奧 田 義八君 望 月 小太郎君 寧 堅君
川 眞田 德三郎君 板 東 勘五郎君 望 月 小太郎君 寧 堅君
本案ノ第二讀會ヲ開クヘカラストスルモノ
平島 松尾君 伊 夫 資弼君 安 田 勳君 松 原 九郎君
菅 澤 重雄君 安 島 重三郎君 山 田 平太郎君 關 飯 省三郎君
高 橋 金治君 清 水 隆德君 井 上 陸三君 川 島 龍藏君
澤 村 耕治郎君 星 野 仙藏君 井 上 要三君 梅 野 初實君
西 村 眞太郎君 小 田 文行君 東 田 又七君 關 野 善次郎君
降 旗 元太郎君 安 念 次左衛門君 山 口 達太郎君 田 村 惟昌君
齋 藤 勘七君 林 謙三君 山 口 達太郎君 田 村 惟昌君
荒 谷 桂吉君 關 直彦君 山 口 達太郎君 田 村 惟昌君
朝 倉 鐵藏君 井 上 精一郎君 須 見 千次郎君 大 熊 三之助君
淺 見 竹太郎君 市 田 兵七君 澤 來 太郎君 井 手 武右衛門君
竹 村 眞貞君 神 崎 東藏君 澤 來 太郎君 井 手 武右衛門君

野木 善三郎君 進 藤 喜平太郎君 石 田 仁太郎君 佐 藤 庫喜君
福 井 三郎君 久 保 田 與四郎君 齋 藤 眞輔君 國 井 正藏君
金 岡 又左衛門君 合 田 福太郎君 村 松 龜一郎君 佐 々 木 正藏君
藤 澤 幾之輔君 江 藤 新作君 坂 口 仁一郎君 箕 浦 勝人君
武 富 時敏君 肥 塚 龍君 角 田 眞平君 犬 養 政之助君
青 地 雄太郎君 大 石 熊吉君 佐 藤 伊助君 木 下 謙次郎君
齋 藤 宇一郎君 大 津 淳一郎君 尾 形 兵太郎君 米 田 實君
望 月 長夫君 岡 本 金太郎君 鈴 屋 倉次郎君 小 林 仲次君
西 村 丹治郎君 神 藤 才一君 守 屋 此助君 近 江 谷 榮次君
入 江 武一郎君 堀 谷 左治郎君 淺 野 陽吉君 松 井 源內君
松 本 恆之助君 坂 本 金彌君 河 野 廣中君 加 瀬 禧逸君
濱 田 國松君 大 竹 貫一君 關 口 安太郎君 大 加 瀬 久雄君
早 速 整爾君 小 川 平吉君 安 岡 雄吉君 花 井 卓藏君
高 橋 勝七君 福 留 清四郎君 田 中 喜太郎君 渡 邊 敬昌君
國 谷 亨君 荒 川 五郎君 岡 井 藤之丞君 高 木 龍藏君
小 河 源一君 紫 垣 一雄君 松 本 大 吉君 三 井 忠藏君
城 重 雄君 野 尻 邦基君 橫 田 虎彦君 矢 島 浦太郎君
岡 田 治衛武君 駒 林 廣運君 原 田 越 城君 橫 堀 三子君
石 田 孝吉君 久 保 伊一郎君 石 谷 傳四郎君 柴 堀 四朗君
竹 內 正志君 藤 井 牧太郎君 淺 野 順平君 須 藤 嘉吉君
森 秀 次君 井 上 角五郎君 中 谷 宇平君 安 達 謙藏君
松 家 德二君 南 條 吉左衛門君 白 井 哲夫君 內 貴 甚三郎君
大 淵 龍太郎君 奧 村 善右衛門君 山 田 省三郎君 大 畑 純次君
服 部 小十郎君 佐 治 幸平君 山 田 省三郎君 大 畑 純次君
谷 澤 龍藏君 大 戶 復三郎君 片 山 正 中君 雄 倉 茂次郎君
鈴木 德兵衛君 福 島 宜三君 岩 本 晴之君 濱 口 擔君
米 田 武八郎君 江 間 俊一君 岩 本 晴之君 濱 口 擔君
○議長(杉田定一君) 本案ハ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ
○議長(杉田定一君) 直チニ二讀會ヲ開クコトヲ希望シマス
○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ動議ノ如ク、直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハ
アリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、直チニ二讀會ヲ開キマス、全部ヲ議
題ト致シマス
○議長(杉田定一君) 石油消費稅法案
○議長(杉田定一君) 原案賛成
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、委員長報告通り決シマシタ
○長谷場純孝君 直ニ三讀會ヲ開イテ、確定セラレンコトヲ希望シマス
〔贊成々々〕ノ聲起ル
○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ動議ノ如ク直チニ三讀會ヲ開キ、確定スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、直チニ三讀會ヲ開キマス

石油消費稅法案

第三讀會

○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス、是ニテ本會ハ確定致シマシタ

〔拍手起ル〕
○議長(杉田定一君) 日程第十、關稅定率法輸入稅表中改正法律案、此採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フ御方ノ起立ヲ願ヒマス

起立者 多數
○議長(杉田定一君) 多數アリマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ
○長谷場純孝君 二讀會ニ三讀會ヲ省略シテ直チニ確定セラレンコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル
○議長(杉田定一君) 長谷場君ノ動議ノ如ク二讀會ニ三讀會ヲ省略シテ直チニ確定スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ハ無イト認メマス

關稅定率法輸入稅表中改正法律案 確定議
○議長(杉田定一君) 委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(杉田定一君) 御異議ガナイト認メマス、是レデ本案ハ確定ヲ致シマシタ

○長谷場純孝君 本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(杉田定一君) 報告ガアリマス——チヨットマダ御諮リ申スコトガアリマス、暫ク——諸君ニ御諮リ致シマス、酒造稅法中改正法律案投票ノ際、寺井純司君ハ過ッテ鄰席田中藤次郎君ノ名刺ヲ持參シタル旨届出ラレタノデアリマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 田中藤次郎君ハ本日缺席セラレ、且配付ノ名札ノ數ニ於テモ明瞭トナシ居リマス、因テ其名ヲ訂正ヲ許シマシテ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(杉田定一君) 御異議ハナイト認メマス——報告ガアリマス

〔書記朗讀〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

尾張國熱田神宮神寶特別護衛ニ關スル建議案

提出者 鈴木總兵衛君 服部小十郎君 林小參君
横井甚四郎君 鈴置倉次郎君 竹田千代足君

治水事業費繰延復活ニ關スル建議案

提出者 植場平君 吉植庄一郎君 佐々木正藏君
谷澤龍藏君 西村丹治郎君 山田省三郎君
川真田德三郎君

一久保田與四郎君ヨリ政府ニ對シ西園寺總理大臣ノ演說ニ對スル再質問書ヲ提出セラレタリ

〔左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

西園寺總理大臣ノ演說ニ對スル再質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十一年二月四日

提出者 久保田與四郎

贊成者 大石正己 外七十六名

西園寺總理大臣ノ演說ニ對スル再質問書

西園寺總理大臣ハ兼テ政友會總裁トシテ去一月十八日芝山内ニ綠亭ニ其所屬衆議院議員代議員其他ノ黨員ヲ招待シテ午餐會ヲ開キ其席上ニ於テ爲サレタル演說ニ對シ本員ハ先キ質問スル所アリシニ政府ハ去月三十一日附ヲ以テ「私ノ宴席ニ於ケル談話ノ内容ニ對シテハ答辯ノ限リニアラス」ト答辯セラレタリ

是實ニ解ス可ラサルナリ其私タル公タル宴席タル茶席タル又談話タルト演說タルト問ハス苟クモ一國ノ總理大臣即チ政治上一切ノ責任ヲ負フ可キ身ニアリナカラ刻下政治界ノ一大問題トシテ在朝在野ノ二黨端ヲ削リテ論戰中ナル増稅問題等ニ對シ恰モ之ヲ贊成スルモノハ

陛下ノ恩召ニ適ヒ之ニ反對スルモノハ恩召ニ適ハサルモノ、如キ無辭ノ言辭ヲ弄スルコトヲ得ヘキモノト思フヤ如何況ヤ現内閣ハ自ラ稱シテ立憲内閣政黨内閣ト云フニアラスヤ然則今ヤ西園寺公ハ出テハ即總理大臣ト入りテハ即政友會總裁トリ其言行ノ政治上ニ關スルモノハ固ヨリ以テ之ヲ區別スルコトヲ得サル可シ見ル可シ其總裁トシテ述ヘタル演說ト總理トシテ述ヘタル演說ト毫モ異ナル所ナキヤ

西園寺總理大臣ハ就職以來既ニ久シキニ拘ハラス會テ其政見ヲ發表シテ國民ノ公論ニ訴フルカ如キコトナキヤ以テ年一回ノ政友會大會(其宴會ニ遷リタルト否トハ問ハス)ニ於ケル總裁即總理大臣ノ一言一句ハ皆其政府所信ノ政策如何トス可キモノナラフ以テ國民ハ熱心注意スル所タラスンハアラス

此ノ如ク當日午餐會ノ主人公ハ西園寺總理大臣ニシテ其招待セラレタルハ松田原ノ二相衆議院議員代議員黨員ナリ而シテ其言フコロノモノハ舉ゲテ増稅問題ニ外ナラス(試ミニ見ヨ)大ニ御盡力ヲ煩ハサレハナラヌト思惟ス偏ニ國家ノ爲メニ充分御盡力ノコトヲ希望シ「云々」並ニ杉田定一氏ノ演說參照)其席ニ酒宴アリシヤ否ヤ又談話ナリシヤ挨拶アリシヤノ如キハ此レヲ問フコトヲ要セサルナリ唯タ此ノ如キ政治的集會ニ於テ而モ總理大臣力其所屬ノ代議員等ヲ訓示(杉田氏ノ言ニ倣フ)スルニ於テ

陛下ノ御恩召如何等ヲ云々スルハ不臣ノ甚シキモノト思フナリ知ラス被問者ノ辯解如何

○議長(杉田定一君) 次ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時八分散會